

## [ 日 台 文 化 芸 能 の 出 来 事 ]

更新 2006年2月2日 (木) 午前11時00分

注1 : 文字の下にアンダーラインのあるものは、日本国内での出来事

注2 : 文字のまわりに囲み線があるものは統計数字を意味する

注3 : 敬称略

### 台湾における日本統治時代

1895年 (明治28年) 4月17日から1945年 (昭和20年) 8月15日  
までの約50年間

1945年 第2次世界大戦終結

1946年 在台日本人の引揚完了 (4月20日)、台湾総督府廃止 (5月31日)

1947年 中華民国憲法発布 (1月1日)

(1947年5月3日 日本国憲法施行)

1947年 228事件

1948年 蒋介石総統就任 (第1期)

1949年 臨時戒嚴令



1950年 朝鮮戦争勃発 (6月25日)、米第13航空隊台湾駐留開始 (8月4日)

1952年 日華平和条約調印 (4月28日、台北)

1954年 米華共同防衛条約調印 (12月2日、ワシントン)

1955年 日華航空協定調印 (3月15日、東京)

1955年 邱永漢「香港」で第34回直木賞 (1955年下半期) 受賞

1958年 823砲戦 (金門における砲弾戦)

1959年 王貞治 読売巨人軍に入団 (1980年 現役引退)

1981年—1983年 読売巨人軍助監督

1984年—1988年 読売巨人軍監督

1989年—1994年 野球解説者 (NHK)

1995年—2004年 福岡ダイエーホークス監督

2005年— 福岡ソフトバンクホークス監督

<http://www.meikyukai.co.jp/member/dasya/kojin/oh.htm>



1962年 台湾証券交易所開業

1962年 テレビ放送開始 (10月10日)

1962年 「金馬獎」が正式に創設される (台湾のアカデミー賞・金馬賞)

[http://www.goldenhorse.org.tw/2004/about\\_2.php](http://www.goldenhorse.org.tw/2004/about_2.php) 「金馬獎大事紀」

<http://www.goldenhorse.org.tw>

- 1962年 映画「秦・始皇帝」が公開される  
(製作：大映 協力：中央電影公司、中華民國陸軍  
出演：勝新太郎、市川雷蔵 監督：田中重雄)  
1962年11月 70mm テクニラマ、1963年1月 35mm テクニラマ
- 1962年 映画「金門島にかけの橋」が公開される  
(製作：日活／中央電影公司 出演：石原裕次郎、華欣 監督：松尾昭典)
- 1964年 嘉南地震
- 1965年 米国、経済援助を停止
- 1965年 林海峯・史上最年少23歳で囲碁・名人位獲得  
1952年に日本の囲碁界で「昭和の碁聖」と言われる呉清源に見出されて来日、林海峯の門下にプロ棋士張栩、林子淵、林漢傑
- 1965年 張美瑤・東宝映画「戦場にながれる歌」(監督：松山善三)に出演  
[http://movie.cca.gov.tw/PEOPLE/people\\_inside.asp?rowid=12](http://movie.cca.gov.tw/PEOPLE/people_inside.asp?rowid=12)  
「戦場にながれる歌」で張美瑤と共演している林冲は、「元祖台流スター」とも言うべき人物  
<http://www.geocities.jp/haosenkichi/linchong.html>  
張美瑤・主演作品には、「香港の白い薔薇（香港白薔薇）」  
(1965年 日本・台湾・香港合作映画／東宝・台製・電懋)  
監督：福田純 共演：山崎努、宝田明  
「バンコックの夜（曼谷之夜）」  
(1966年 日本・台湾・香港合作映画／東宝・台製・國泰)  
監督：千葉泰樹 共演：加山雄三、星由里子
- 1965年 美空ひばり（美空雲雀）訪台（10月28日－）
- 1965年 高倉健、千葉真一訪台（12月28日－）  
日台合作映画「カミカゼ野郎 真昼の決斗（白日之銀翼）」  
(監督：深作欣二)の撮影のため
- 1966年 北部横貫公路完成（5月1日）
- 1966年 小林旭訪台（5月16日－）
- 1968年 紀政 メキシコ・オリンピック女子80メートル障害で銅メダル
- 1969年 日華航空協定調印（3月22日、台北）
- ▼
- 1970年 黄俊雄によるテレビ布袋戲が始まり、その代表作『雲州大儒侠・史艷文』は空前の人気を博した
- 1970年 川端康成、「国際筆會第三屆亞洲作家會議」で講演（6月16日）

- 1971年 中華民国、国連脱退
- 1971年 1年間に台湾を訪れる観光客46万人に突破  
(うち日本人観光客は25万余人)
- 1971年 欧陽菲菲 (オーヤン・フィフィ)「雨の御堂筋」で、  
日本レコードデビュー  
<http://www.feifei.jp>
- 1971年 第1回「日華大陸問題研究会議」開催(12月、台北)  
以降、日本-台湾交互に開催  
第32回より「日台『アジア太平洋研究』会議」に名称変更
- 1972年 石原裕次郎訪台(2月5日-)
- 1972年 蔣経国行政院長に就任(5月26日)
- 1972年 日台断交(9月29日)
- 1972年 南部横貫公路開通(10月31日)
- 1972年 交流協会発足(12月1日、東京)
- 1972年 亜東関係協会発足(12月2日、台北)
- 1973年 新台幣の対米レート1ドル38元に
- 1973年 十大建設発表(11月)
- 1973年 第1回「東亜経済人会議」開催(11月29日、台湾)  
以降、日本-台湾交互に毎年開催
- 1973年 日華民族文化協会発足(4月7日)  
日本の教育界の識者を中心に結成 会長：宇野精一  
副会長：桑原寿二、中屋健一、村上元三、服部良一  
専務理事：小谷秀二郎、藤島泰輔  
その後、日華文化協会に名称変更
- 1973年 「川端康成展」台北で開く(10月20日-11月3日)  
国立歴史博物館 開幕初日の延べ入場者は6,500人を越え、  
以降も毎日平均4,000人以上が会場を訪れた  
主催：中華民国国立歴史博物館 協力：日華民族文化協会、  
開幕式には、佐藤前首相夫人、何応欽将軍、川端氏未亡人、日華  
民族文化協会の宇野精一会長、作家の王藍氏、林語堂博士らが列席
- 1973年 1年間に台湾を訪れる観光客82万人突破  
(うち日本人観光客は43万余人)
- 1973年 台湾への外国留学生684人  
(1955年は14人、2004年は9,616人)
- 1973年 平均賃金(月)：製造業2,026元(6月)
- 1974年 平均賃金(月)：製造業2,633元(2月)

- 1974年 日本映画上映禁止 (2月)
- 1974年 テレサ・テン (鄧麗君)「今夜かしら明日かしら」で、  
日本レコードデビュー  
<http://www.universal-music.co.jp/polydor/artist/teresa>
- 1974年 日本から台湾への国際電話が直接ダイヤル式に (3月1日)  
(当時、台湾から日本へは引き続き国際交換台を通じて)
- 1974年 日台航空路線断絶 (4月20日)
- 1974年 張大千展 (7月2日-14日)  
東京セントラル美術館 (東京都中央区銀座)  
主催：日華民族文化協会、中華民国国立歴史博物館  
後援：亜東関係協会東京弁事処、交流協会、サンケイ新聞社
- 1974年 「誰も書かなかった台湾」(著者：鈴木明 1929年-2003年) 出版
- 1974年 モロタイ島で元日本兵・中村輝夫さんが発見される (12月)  
(台湾原住民出身 本名：スニヨン 昭和18(1943)年、25歳で出兵)
- 1975年 蒋介石総統死去 (87歳)、嚴家淦副総統が総統 (第5期) に昇任
- 1975年 在台日本人数3, 831人 (3月末)  
(最も多いのは台北市2, 263人、次が高雄市599人)
- 1975年 日台航空路線再開調印  
日本側 日本航空→日本アジア航空設立9月より再就航  
台湾側 中華航空8月より再就航
- 1975年 中華民国綜芸団 東京公演 (12月25日、26日)  
浅草国際劇場 (東京) 一行67人 (アクロバットチーム)  
主催：日華民族文化協会
- 1976年 雲門舞集 東京公演 (5月27日、28日)  
27日 夜 大手町・日経ホール  
28日 昼 銀座・山野ホール  
「白蛇伝」、「奇冤報」など  
主催：日華民族文化協会
- 1976年 中華現代絵画十人展 (30点出品)  
東京都美術館 5月30日-6月12日  
京都市美術館 6月20日-6月26日  
愛知県立美術館 7月12日-7月18日  
広島県立美術館 7月29日-8月3日  
福岡県立美術館 8月6日-8月12日  
新潟県立美術館 8月17日-8月22日  
横浜市民ギャラリー 9月1日-9月8日

- 共催：中華民国国立歴史博物館、日本第一美術家協会
- 1976年 中華国楽団 日本公演  
 7月1日 都市センター（東京） 7月2日 神奈川県立音楽堂  
 7月6日 農協会館（東京、日本雅楽会と共演）  
 7月11日 奈良市文化会館大ホール 7月12日 大阪市中央公会堂  
 （いずれも午後6時半－8時半）  
 主催：日華民族文化協会  
 協賛：亜東関係協会、サンケイ新聞、日本中華聯合總會  
 連絡先：亜東関係協会 文化広報部
- 1977年 凌雲超百体書法三千年展（1月7日－13日）  
 東京・銀座 伊東屋画廊
- 1977年 欧豪年彩墨画 朱銘木彫 合同展（1月11日－16日）  
 東京セントラル美術館（東京都中央区銀座2-7）  
 主催：東京セントラル美術館  
 後援：日華民族文化協会、サンケイ新聞  
 協賛：亜東関係協会東京事務所
- 1977年 「世界の若い作曲家たち」アジア編（3月10日）  
 東邦生命ホール（東京・渋谷）  
 作曲：Samtow Sucharitkul（タイ）  
 Roman P. Santos、Jose Maceta（フィリピン）  
 許博允、温隆信、李奏祥（中華民国）  
 指揮：薮島公二 ソプラノ：島田祐子ほか ピアノ：松谷翠  
 午後6時開場、全席自由席 一般2,000 学生1,000  
 主催・制作：メイコーポレーション  
 協力：A・C・L、タイ国大使館、フィリピン大使館、  
 亜東関係協会、トリオ株式会社
- 1977年 産経新聞台北支局開設
- 1977年 中壢事件
- 1978年 蔣経国総統就任（第6期）
- 1978年 新台幣の対米レート1ドル38元から36元へ切り上げ
- 1978年 統一超商が台湾における7-ELEVEN 便利商店の経営を開始
- 1979年 ジュディ・オング（翁倩玉）「魅せられて」が大ヒット（102万枚）  
<http://www.judyongg.com>
- 1979年 テレビ普及率100%
- 1979年 台米断交（1月1日）
- 1979年 海外旅行の自由化（1月1日）

- (日本の海外旅行自由化は1964年)
- 1979年 中正国際空港(桃園)正式開港(2月26日)
- 1979年 在台米軍撤退完了(4月26日)
- 1979年 「台湾関係法」カーター米大統領が署名(4月10日)
- 1979年 「さよなら・再見(莎喲娜啦・再見)」(著者:黄春明)の日本語翻訳本  
が出版される
- 1979年 美麗島事件(高雄事件)(12月10日)
- ▼
- 1980年 新竹科学工業園區成立
- 1980年 王貞治・本壘打通算868本で世界記録樹立(2001年から無任所大使)  
<http://www.meikyukai.co.jp/member/dasya/dasya.htm>
- 1982年 涂阿玉(Tu Ai-Yu) プロゴルフ賞金女王(1982年-1986年、1989年、  
1991年) <http://www.twgolf.org>
- 1983年 台湾の伝統人形芝居・布袋戲(ポーテーヒー)  
小西園掌中劇団 日本公演(5月24日まで20日間、17回)  
一行9人 「武松打虎」、「三国志」を披露、東京・国立劇場でも上演
- 1983年 台湾オペラ(歌仔戲) 楊麗花一行 東京公演(8月14日)  
日本青年館ホール(東京) 午後2時開演 「漁嬢」を披露  
主催:東京華僑総会、台湾同郷会  
協賛:日華文化協会、亜東関係協会東京弁事処
- 1983年 第12回アジア野球選手権大会で中華台北チームが優勝  
9月3日から韓国のソウル蚕室球場で開催  
(1984年ロス・オリンピックへの出場権を獲得)
- 1984年 台湾原住民族権利促進会成立
- 1984年 テレサ・テン(鄧麗君) 再来日  
「つぐない」(1984年)、「愛人」(1985年)、  
「時の流れに身をまかせ」(1986年)が大ヒット  
<http://www.universal-music.co.jp/polydor/artist/teresa>
- 1984年 中華民国楽舞訪問団 日本公演(5月23日-29日)  
5月23日 大阪シンフォニーホールを皮切りに、奈良、東京  
などで公演を行った 主催:箏曲「登喜和会」
- 1984年 日本映画上映解禁(最初、年間上映本数4本)  
第一弾として「サンダカン八番娼館・望郷」  
監督:熊井啓 1974年 出演:栗原小巻、高橋洋子、田中絹代  
9月28日から台北と高雄で同時上映  
ほか3本には、「砂の器」 監督:野村芳太郎 1974年

- 「先生のつうしんぼ」 監督：武田一成 1977年  
「二百三高地」 監督：舛田利雄 1980年  
日本映画製作者連盟が選考して1980年の「金馬奨」映画祭に参加させた4作品
- 1984年 日本で映画「坊やの人形（兒子的大玩偶）」（1983年）が公開される  
10月6日－7日 広島映像文化センター  
10月18日－11月4日 東京下北沢・鈴なり壺番館  
11月1日－5日 名古屋シネマテーク  
11月16日－17日 大阪浪速開放会館  
監督：侯孝賢、曾壮祥、萬仁  
配給：ぶな企画（田村志津枝） 製作：三一有限公司
- 1985年 中華民国台湾映画祭（1985年2月23日－3月1日）  
新宿東映ホール1（開幕式は2月22日 丸の内東映劇場にて）  
「大輪廻」 監督：胡金銓、李行、白景瑞  
「老兵の春」 監督：李祐寧 「海をみつめる日」 監督：王童  
「少年」 監督：陳坤厚 「悲しい愛」 監督：張毅  
「嫁ぐ日」 監督：萬仁 「ある日の騒動」 監督：張佩成  
（7作品上映）  
監督、脚本家、男女俳優など24人からなる「映画祭代表団」が来日  
主催：中華民国電影事業発展基金会・「台湾映画祭」実行委員会  
（3月2日－8日 大阪・阪急梅田駅東口の三番街シネマ2）
- 1985年 西武ライオンズ・郭泰源がノーヒット・ノーラン記録樹立
- 1985年 第30回アジア・太平洋映画祭（6月4日－7日）に参加した代表団  
（団長＝林登飛・映画製作者連盟会長）一行55人は東京と大阪で  
特別公演を行った（郭小莊、陳麗麗、胡茵夢、張純芳など）  
6月8日 東京（九段会館）、6月10日 大阪（厚生年金会館）
- 1985年 台湾の伝統人形芝居「亦宛然掌中劇団（団長：李天祿）」来日公演  
布袋戲（ポーテーヒー）と傀儡戲（カーレイヒー）が披露された  
7月29日、30日 プーク人形劇場（東京都渋谷区代々木）  
8月10日 相模原市、8月11日 東京・池袋、8月14日 鎌倉市、  
8月16日－18日 仙台市
- 1985年 第6回アジア陸上競技大会（9月25日－29日 ジャカルタ）  
十種競技で古金水選手が優勝、2位は李福恩選手
- 1985年 中華民国青年友好訪問団が来日（10月25日－11月5日）  
東京と大阪で公演 連絡先：亜東関係協会東京弁事処文化部
- 1985年 テレビ朝日・タモリ倶楽部3周年特別企画

- 「タモリ台湾日帰り旅行」(11月8日 夜12時から)  
 第2弾「欧陽菲菲の台北ガイド」(11月29日 夜12時から)
- 1986年 日本の大井川鉄道と台湾の阿里山鉄道が姉妹鉄道提携(1月25日)  
 大井川鉄道(静岡県、金谷一寸又峽)と阿里山鉄道(嘉義-阿里山)が  
 後藤泰三・大井川鉄道社長と許啓祐・林務局長が出席し調印式が行われた
- 1986年 第1回台北国際マラソン(3月9日)  
 主催: 中華民國陸上競技協会(総幹事: 紀政)
- 1986年 ジャスコと寿屋が「台湾物産展」を開催  
 ジャスコ(3月21日-5月20日 全国にて順次開催)  
 寿屋(4月26日-11月24日 九州を中心に順次開催)
- 1986年 日本映画の輸入枠を6本に拡大(4月10日)  
 行政院新聞局は1986年度の日本映画輸入枠を1985年の4本から6本に  
 拡大 輸入される作品は東映と松竹から各2本、東宝と日活から各1本  
 業者が入札で輸入権を割当てられる
- 1986年 漢唐楽府絃管楽団 来日公演(4月17日)  
 天理市民会館 午後2時開演  
 連絡先: 天理教よのもと会
- 1986年 中華民國児童美術展(7月26日-8月29日)  
 ギャラリー「G・FACE」(東京・渋谷にあるアパレル・メーカー  
 スクープが経営) 協力: 中華民國児童美術教育学会
- 1986年 現代日本美術展 1945-85年(5月11日-6月25日)  
 台北美術博物館
- 1986年 民主進歩党成立
- 1986年 女優の薬師丸ひろ子さんが日本映画「新里見八犬伝」のPRで台湾に  
 (9月24日-) 台湾での日本映画輸入枠年間6本のうちの作品として  
 岡田茂・日本映画製作者連盟会長(東映社長)とともに
- 1986年 蔣公生誕百周年記念「海光団劇団」日本公演(10月28日-11月1日)  
 東京中華学校(東京都千代田区五番町) 午後7時開演  
 「龍鳳呈祥・玉春堂」、「群英会」、「呂布と豹蟬」、「花木蘭」
- 1987年 為替自由化推進
- 1987年 中華民國現代十大美術家展(4月中旬-5月31日)  
 木下美術館(滋賀県大津市)  
 張大千、黄君璧、李海樹、顔水龍、沈耀初、林玉山、李澤藩、楊三郎、  
 劉啓祥、陳進
- 1987年 国際ライオンズクラブ 第70回世界総会(7月1日-4日)  
 中正体育館(台北市林口)を中心会場として開催

- 世界 162 力国・地域から約 4 万人が参加
- 1987年 戒厳令解除 (7月15日、38年間)
- 1987年 探親 (大陸の親族訪問) 開始
- 1987年 第14回アジア野球選手権大会で中華台北チームが優勝  
8月24日から東京で開催  
(1988年ソウル・オリンピックへの出場権を獲得)
- 1987年 国立中正紀念堂 (1980年4月完成) の第2期工事として、中正公園内に建設が進められていた國家音樂廳と國家劇院が10月31日に正式開場
- 1987年 太平洋 Sogo (太平洋崇光百貨) 台北店オープン (11月)
- 1988年 TVドラマ「来来!キョンシーズ」がTBSで放映され、キョンシー&テンテン・ブームとなる  
<http://rairai-kyonsees.com>
- 1988年 呂明賜 読売巨人軍に入団 (1988-1991年)  
<http://twbsball.dils.tku.edu.tw/wiki/index.php?title=%E9%A6%96%E9%A0%81>  
(台湾棒球維基館・台湾棒球大事記)  
<http://www.cpbl.com.tw/News/CpblEvent.asp> (職棒大事記)
- 1988年 新聞の創刊と増頁解禁
- 1988年 蔣経国総統死去 (77歳)、李登輝副総統が総統 (第7期) に昇任
- 1988年 中華民國台湾映画祭  
(1988年2月6日、13日、20日、27日、3月5日、12日、19日、27日、4月2日、9日、23日) 神戸市立博物館 地階講堂  
「坊やの人形」「海を見つめる日」「少年」「大輪廻」「悲しい愛」  
「ある日の騒動」「嫁ぐ日」「夫殺し」「風櫃から来た人」「老兵の春」  
「さよなら・再見」(11作品上映)  
主催: 神戸市立博物館、亜東関係協会東京弁事処、亜東関係協会大阪弁事処、中華民國留日神戸華僑總會
- 1988年 文楽、戦後初の台湾公演「曾根崎心中」(6月4日、5日 國家戲劇院)  
浄瑠璃の豊竹呂大夫、人形の吉田蓑助ら一行25人
- 1988年 第2回中華民國台湾映画展 (1988年12月3日-9日)  
新宿東映パラス2  
「カンフーキッド・続集」 監督: 陳誌華  
「村と爆弾」 監督: 王童 「ナイルの娘」 監督: 侯孝賢  
「怨の館」 監督: 但漢章 「淡水行き最終列車」 監督: 柯一正  
「桂花小路」 監督: 陳坤厚 (6作品上映)  
主催: 中華民國電影事業發展基金會・「台湾映画祭」実行委員会  
(12月10日-16日 大阪・阪急梅田駅東口の三番街シネマ2)

- 1989年 「人民団体組織法」成立で、「党禁」解除、民主進歩党が合法政党に
- 1989年 亜東関係協会東京弁事処新築落成（2月10日）
- 1989年 秋田県・田沢湖と高雄県・澄清湖の親善写真展（2月14日－22日）  
 シスターレイク（姉妹湖）盟約を記念する親善写真展が田沢湖町商工会館  
 および東京・銀座の東芝銀座セブンで開催  
 秋田りんごとパイナップルを観客に無料配布し、台湾の歌手、ナンシー・  
 チェンさんが台湾民謡を披露した  
 主催：日本アジア航空
- 1989年 福岡台湾映画展'89（1989年3月12日－16日）  
 福岡市・明治生命ホール  
 「ナイルの娘」「恐怖份子」「淡水行き最終列車」  
 「村と爆弾」「少年」「老兵の春」（6作品上映）  
 主催：福岡台湾映画展'89 実行委員会
- 1989年 中華京劇団 東京公演（3月24日、25日、28日）  
 「古城会・金銭豹」、「白蛇伝・鍾馗嫁妹」、「古城会・鍾馗嫁妹」  
 24日、25日 虎ノ門・ニッショーホール 午後6時開場  
 28日 有楽町・朝日ホール 午後5時30分開場  
 連絡先：日華文化協会、亜東関係協会東京弁事処文化部
- 1989年 第1回「アジア・オープンフォーラム」開催（6月、台北）  
 以降、日本－台湾交互に毎年開催し、2000年・第12回で終了
- 1989年 能観世流 台湾公演（6月24日、25日 國家戯劇院）  
 台湾での本格的な能公演は戦後初めて（スライド使い字幕解説）  
 団長：関根祥六、能楽団一行29人  
 （団員：観世清和、森常好、山本則直ら）  
 「羽衣」「船弁慶」「隅田川」「猩々乱（しょうじょうみだれ）」など  
 6月23日に入門講座をひらく
- 1989年 台北市区鉄道地下化工事（華山＝萬華間）が9月2日から正式運転開始  
 新築された台北駅（地下2階、地上6階）も同時にオープン  
 （1983年7月に着工）
- 1989年 「悲情城市」（監督：侯孝賢）ヴェネチア国際映画祭金獅子賞受賞（9月）
- 1989年 「台北からのメッセージ展 台湾現代美術の現況」（10月下旬－12月16日）  
 ハラ・ミュージアム・アーク（群馬県渋川市金井の伊香保グリーン牧場内）  
 張永村、陳正勲など、若手、中堅の美術作家14人の作品29点  
 共催：原美術館、台北市立美術館
- 1989年 アメリカン・エクスプレスが「元カード」を発行  
 1987年5月に台湾で最初の「米ドル・カード」を発行



- 1990年 中華職業棒球聯盟 (CPBL)、台湾プロ野球がスタート (3月17日)  
1997年、新リーグ 台湾職業棒球大聯盟 (TML) もスタート  
2003年1月、両リーグは合併協定書に正式調印、その後、名称を  
「中華職業棒球大聯盟」(CPBL)へ変更  
6チーム：興農牛、兄弟象、中信鯨、誠泰 COBRAS、統一獅、LaNew 熊  
<http://www.cpbl.com.tw>
- 1990年 侯孝賢映画祭 (1990年4月14日-18日)  
渋谷パルコ・スペースパート3 主催：ぴあ
- 1990年 日本で映画「悲情城市」(1989年)が公開される  
(1990年4月28日) 監督：侯孝賢  
シャンテ・シネ2 配給：フランス映画社  
[http://www.kinokuniya.co.jp/02f/d12/2\\_12000n\\_6.htm#hijojoshi](http://www.kinokuniya.co.jp/02f/d12/2_12000n_6.htm#hijojoshi)
- 1991年 海峡交流基金が正式に業務開始 (3月9日)  
辜振甫董事長 (工商協進会理事長) が主宰
- 1991年 日本人旅行者に数次ビザを発行 (5月1日)  
ビザ申請をする日本人に対して、事由を限定することなく、有効期間1年、  
一回の滞在期間を15日とする数次ビザ (申請手数料は1万円)
- 1991年 第1回天理台湾研究会・発会総会 (6月)  
以降、毎年開催 1995年「天理台湾学会」に名称変更  
<http://www.tenri-u.ac.jp/tngai/taiwan>
- 1991年 アジアフォーカス・福岡映画祭91 (9月6日-13日)  
「バナナ・パラダイス」(監督：王童)  
<http://www.focus-on-asia.com>
- 1991年 第4回東京国際映画祭 (9月27日-10月6日)  
[ ヤングシネマ・コンペティション ]  
「ファイブ・ガールズ・アンド・ア・ロープ」(1991年)  
英題：Five girls and a rope 監督：葉鴻偉 (イエ・ホンウェイ)  
[ インターナショナル・コンペティション ]  
「牯嶺街少年殺人事件」(1991年)  
英題：A brighter summer day 監督：楊徳昌 (エドワード・ヤン)
- 1992年 亜東関係協会駐日弁事処が台北駐日経済文化代表処に改名
- 1992年 唐十郎の紅テントが台湾公演 (3月27日-29日)  
「ピンローの封印」(唐十郎作・演出)  
博多の漁船が台湾沖で海賊船に襲われたというニュースを  
ヒントにした劇

- 台北市内の公園にて、台湾の若手監督楊徳昌らの協力で実現
- 1992年 中華民国京劇訪問団 東京公演 (3月29日、30日)  
 東京・明治神宮会館 午後2時半開演  
 「野猪林」、「三岔口」、「呂布と貂蟬」
- 1992年 酒井法子 スタジアム・ライブ in 台湾 (5月10日、11日)  
 (観客動員数3万人)  
 この年、台湾で2度目の公演 (10月31日、11月1日)  
 1993年6月 台湾ドラマ「我愛美人魚」撮影  
 2000年 CONCERT TOUR「ASIA2000 WORDS OF LOVE」  
<http://www.sunmusic.org/noriko>
- 1992年 アジアフォーカス・福岡映画祭 92 (9月11日-21日)  
 「娃娃 (ワワ) と子豚」(監督: 柯一正)  
<http://www.focus-on-asia.com>
- 1992年 第5回東京国際映画祭 (9月25日-10月4日)  
 [ ヤングシネマ・コンペティション ]  
 「天幻城市」(1992年)  
 英題: Dust of angels 監督: 徐小明 (シュウ・シャオミン)  
 「暗恋桃花源」(1992年)  
 英題: The peach blossom land 監督: 賴聲川 (スタン・ライ)  
 [ アジア秀作映画週間 ]  
 「魯冰花」(1989年)  
 英題: The dull-ice flower 監督: 楊立国 (ヤン・リークォ)  
 「ペインテッド・スキン」(1992年)  
 英題: Painted skin 監督: 胡金銓 (キン・フー)
- 1992年 中華青少年民俗運動訪問団 東京公演 (9月10日)  
 正則学園 (東京都千代田区) 午後3時- 一行36名が来日  
 「扯鈴」(唐独楽回し)、「踢毽」(羽蹴り)、「跳繩」(縄跳び)
- 1992年 台湾オペラ (歌仔戲)「明華園歌劇団」東京公演 (10月8日、9日)  
 東京・明治神宮会館 午後2時半開演  
 演目:「濟公活仏」  
 主催: 日本中華聯合總會、日華親善協会全国連合会  
 協賛: 台北駐日経済文化代表処、在日華僑各団体
- 1993年 「夫殺し (殺夫)」(著者: 李昂)の日本語翻訳本が出版される
- 1993年 「我的故事 (わたしの物語)」(著者: 瓊瑤)の日本語翻訳本が出版される
- 1993年 是枝裕和監督 台湾関連作品  
 フジテレビ NONFIX 『侯孝賢とエドワード・ヤン』(1993年)

- 『シリーズ憲法 第9条・戦争放棄「忘却」』（2005年）  
<http://www.fujitv.co.jp/nonfix/library/2005/462.html>
- 映画「幻の光」（1995年 原作：宮本輝、監督：是枝裕和、音楽：陳明章）  
<http://www.cmcmusic.com.tw> <http://www.kore-eda.com>
- 1993年 司馬遼太郎訪台（1993年1月、4月、1994年3月）  
「街道をゆく 40 台湾紀行」（1994年、朝日新聞社）を出版
- 1993年 日本のドラマ番組VTRの輸入解禁（6月1日）  
輸入に当たって業者は、発行元の授権証明書を行政院新聞局に申請する必要がある（氾濫する不法輸入VTRに対する対策として、まず1992年4月には10種類の日本製番組VTRの輸入を許可している）
- 1993年 有線テレビ（テレビ）法制定（7月）
- 1993年 12カ国にノービザ（120時間）を適用（8月）
- 1993年 アジアフォーカス・福岡映画祭93（9月9日－19日）  
「ウェディング・バンケット」（監督：李安）  
<http://www.focus-on-asia.com>
- 第38回アジア太平洋映画祭  
「無言の丘」（監督：王童）
- 1993年 第6回東京国際映画祭（9月24日－10月3日）  
[ インターナショナル・コンペティション ]  
「月光少年」（1993年）  
英題：Moonlight boy 監督：余為彦（ユー・ウェイイエン）
- [ ヤングシネマ・コンペティション ]  
「青春神話」（1992年）  
英題：Rebels of the neon god 監督：蔡明亮（ツァイ・ミンリャン）
- [ アジア秀作映画週間 ]  
「戯夢人生」（1993年）  
英題：The puppetmaster 監督：侯孝賢（ホウ・シャオシェン）
- 1993年 京劇オペラ「マクベス」日本公演（10月26日、27日、28日）  
新宿文化センター 大ホール 原題：欲望城國（當代傳奇劇場）  
国際舞台芸術交流センターの日台演劇交流計画として1993年4月には、蜷川カンパニー「王女メディア」が台北・国家戯劇院にて上演された
- 1993年 台湾のプロ野球リーグは、ロサンゼルス・ロジャースと3試合（10月29日、30日、31日）、11月に読売・巨人軍と5試合（11月14日－21日）を行った
- 1993年 関西テレビ開局35周年記念 日台合作ドラマ「再会・奈津子の結婚」  
11月22日放送 主役は鷺尾いさ子、恋人役は台湾の人気俳優の王道

- プロデューサー 野田利昌
- 1993年 新光摩天大樓（ビル）完成、B5～12Fに新光三越百貨の2店目  
台北駅前店がオープン（12月）
- 1993年 テレビで日本語の使用が許可される
- 1994年 中国電視がNHKの連続ドラマ「おしん」を放送、一大ブームに
- 1994年 映画「我が人生最悪の時」が公開される（3月）  
日台合作 出演：永瀬正敏（濱マイク）、侯徳健（台湾の兄役）  
監督：林海象 助監督：行定勲  
プロデューサー：古賀俊輔、林海象、余為彦  
林海象は、アジア六カ国の若手監督による「アジアンビート」を  
プロデュース（台湾編は「シャドー・オブ・ノクターン」（1991）  
監督：余為彦 劇場未公開・ビデオ発売）
- 1994年 「台湾先住民の文化 伝統と再生」展開催（3月10日～5月24日）  
国立民俗学博物館（大阪府吹田市千里万博公園 10-1）  
<http://www.minpaku.ac.jp/special>
- 1994年 CHAGE and ASKA 台湾公演（5月21日）  
CHAGE and ASKA CONCERT TOUR 『ASIAN TOUR 1994』  
台北市立體育場 100トンの機材と90人のスタッフで訪台  
チケット：1,000元（4,000円）と1,500元（6,000円）  
1995年11月11日、12日 台北市立體育場で2回公演  
CONCERT TOUR 『ASIAN TOUR II MISSION IMPOSSIBLE』（観客動員数4万人）  
<http://www.chage-aska.net>
- 1994年 アジアフォーカス・福岡映画祭94（9月9日～18日）  
「恋人たちの食卓」（監督：李安）  
[ 協賛企画：中国語圏映画特集 ] 主催：福岡映画祭企画委員会  
台湾の作品は、「川の流れるに草は青々」（監督：侯孝賢）  
「天幻城市」（監督：徐小明）  
「宝島：トレジャー・アイランド」（監督：陳国富）  
<http://www.focus-on-asia.com>
- 1994年 第7回東京国際映画祭・京都大会（9月24日～10月2日）  
[ インターナショナル・コンペティション ]  
「飛俠阿達」（1994年）  
英題：The red lotus society 監督：頼聲川（スタン・ライ）  
[ ヤングシネマ・コンペティション ]  
「多桑」（1994年）  
英題：A borrowed life 監督：呉念真（ウー・ニエンチェン）

[ アジア秀作映画週間 ]

「独立時代」(1994年)

英題：A Confucian confusion 監督：楊徳昌 (エドワード・ヤン)

- 1994年 エスニックコンサート94 (12月8日)  
日仏会館 台湾からの参加は、ピリン・スヤン (タイヤル族)
- 1994年 ビビアン・スー (徐若瑄) 日本デビュー
- 1994年 横浜中華街・関帝廟の「関帝誕」に、台湾から伝統人形芝居の布袋戲、紙工芸の剪紙、細工菓子の第一人者が招かれる  
横浜中華学院校庭で「芸生布袋戲団」が「西遊記」を上演
- 1995年 12カ国に対し、14日間までノービザ (1月1日ー)
- 1995年 阿蘇伝統芸能公演団 (太鼓、神楽) 台湾・高雄市公演 (2月17日ー21日)  
熊本県から一行21人 台湾省休閒旅遊協會の招き  
1993年から実施 (3回目) 阿蘇青年会議所 (江藤長利理事長)  
阿蘇町の大阿蘇命太鼓保存会、白水村の白水岩戸神楽保存会ら訪台  
博覧会や高雄鼓会にて計7回公演
- 1995年 劇団「唐組」(劇作家・唐十郎)の新作「裏切りの街」が大阪、京都で  
テント上演される (4月)  
なぞの探偵「カンテン堂灰田」シリーズ第四作  
(過去二作ともに台湾を舞台にした劇)  
前作「桃太郎の母」は「海ほおずき」と改題され映画化  
監督：林海象、脚本・主演：唐十郎
- 1995年 テレサ・テン (鄧麗君) 急死 (5月8日、タイにて)
- 1995年 きんさん・ぎんさん、初めての海外旅行で台湾へ (5月 102歳)  
成田きん・蟹江ぎん (1892年・明治25年8月1日ー2000年、2001年)
- 1995年 「日本と台湾 その100年を考える 日台関係100年記念  
留学生交流フォーラム」(6月7日 拓殖大学・文京キャンパス)
- 1995年 金城武、TVドラマ「聖夜の奇跡」で宮沢りえと共演  
その後のドラマ出演作には、「神様、もう少しだけ」(1998)、  
「二千年の恋」(2000)、「ゴールデンボウル」(2002)、「LOVERS」(2004)  
など30本以上の映画に出演  
<http://www.fulong.jp>
- 1995年 アジアフォーカス・福岡映画祭95 (9月14日ー24日)  
「推手」(監督：李安)  
[ 協賛企画：中国語圏映画特集2 ] 主催：福岡映画祭企画委員会  
台湾の作品は、「村と爆弾」(監督：王童)  
「悲情城市」(監督：侯孝賢)、「暗恋桃花源」(監督：賴聲川)

<http://www.focus-on-asia.com>

- 1995年 第8回東京国際映画祭 (9月22日-10月1日)  
[ インターナショナル・コンペティション ]  
「超級大国民」(1995年)  
英題: Super citizen ko 監督: 萬仁 (ワン・レン)  
[ ヤングシネマ・コンペティション ]  
「息子の嫁」(1995年)  
英題: The daughter-in-law 監督: 王戯簾 (スティーヴ・ワン)  
[ アジア秀作映画週間 ]  
「好男好女」(1995年)  
英題: Good men, Good women 監督: 侯孝賢 (ホウ・シャオシェン)
- 1995年 映画「旅するパオジャンフー」(監督: 柳町光男) 劇場公開  
(10月28日) 日比谷シャンテ・シネ2
- 1995年 台湾オペラ (歌仔戯)「明華園歌劇団」来日公演  
11月13日、14日 東京厚生年金会館 午後7時開演  
そのほかにも、大阪、名古屋、福岡など全国で公演  
演目: 「千年狐の純愛物語」(原題: 「濟公活仏」)  
出演: 孫翠鳳、鄭雅升、陳勝發 一行80人
- 1996年 台湾初の総統直接選挙 李登輝・連戦の国民党候補が圧勝
- 1996年 MRT 木柵線開通 (3月28日)
- 1996年 インディジネス・コンサート 96 先住民族音楽彩祭 (5月31日)  
中野 ZERO ホール (東京都中野区中野 2-9-7)  
台湾からの参加は、台東県霧鹿村ブヌン山地伝統音楽団
- 1996年 アジアフォーカス・福岡映画祭 96 (9月13日-23日)  
「熱帯魚」(監督: 陳玉勳)  
<http://www.focus-on-asia.com>
- 1996年 映画「海ほおずき」(監督: 林海象、脚本・主演: 唐十郎) 劇場公開  
(9月21日) 渋谷ユーロスペース2 ※日台合作作品
- 1996年 第9回東京国際映画祭 (9月27日-10月6日)  
[ ヤングシネマ・コンペティション ]  
「浮草人生」(1996年)  
英題: A drifting life 監督: 林正盛 (リン・チェンシェン)  
[ アジア秀作映画週間 ]  
「再見南国」(1996年)  
英題: Goodbye south, Goodbye 監督: 侯孝賢 (ホウ・シャオシェン)  
「カップルズ」(1996年)

- 英題：Mahjong 監督：楊徳昌（エドワード・ヤン）
- 1996年 台湾の伝統人形芝居・布袋戲（ポーテーヒー）  
小西園掌中劇団（団長：許王） 日本公演  
 10月3日 午後7時開演 ルミエールホール（大阪府門真市末広町）  
 10月8日 かつしかシンフォニーヒルズ（葛飾区立石）  
 午後6時半開演 3,000円  
 10月14日 アサヒスクエアA（墨田区吾妻橋）  
 午後6時半開演 4,000円  
 演目は、糸操り人形による魔よけの民間儀礼「鍾馗祈福」、  
 水滸伝「武松打虎」、三国志「関公斬蔡陽」など  
 レクチャーデモンストレーション  
 10月11日 フジタヴァンテ2階（渋谷区千駄ヶ谷） 午後7時から  
 10月12日 早稲田大学演劇博物館（新宿区西早稲田） 午後1時半から  
 連絡先：現代人形劇センター TEL：044-777-2228
- 1996年 鼎泰豊の日本における最初の支店が新宿高島屋にオープン（10月）
- 1996年 馬蘭アミの歌声（10月25日）  
 江東区文化センター 午後7時開演  
 出演：台湾馬蘭アミ民族歌唱団  
 主催：台湾原住民族との交流会  
<http://www.roc-taiwan.or.jp/data/data3-9.html>
- 1996年 神戸100年映画祭 アジア・フィルムフェア（11月7日-23日）  
 神戸市立海洋博物館ホール 他  
 台湾からは、「カップルズ」（1996年） 監督：楊徳昌（エドワード・ヤン）  
 「暗恋桃花源」（1992年） 監督：頼聲川（スタン・ライ）
- 1996年 哈日杏子（ハーリー・キョウコ） 「早安日本（おはよう日本）」を台湾で  
 出版 「哈日」「哈日族」という言葉が流行（「哈日」は、台湾語で「日本  
 が大好き」という意味） 2006年現在、台湾と日本で合わせて20冊以上  
 の本を出版、台流スターに関しての「もっと知りたい！台湾TVドラマ」  
 （2005年、共同通信社）にも執筆  
<http://www.taiwan-link.com/harikyoko>
- 1997年 台湾全域でのケーブルテレビの普及率が63%となり、  
 アメリカの普及率と並ぶ
- 1997年 民間全民電視（民視）設立
- 1997年 ジャズトランペッター・日野皓正 台湾での「第16回国際芸術祭」に出演  
<http://www.terumasa.com>
- 1997年 五月畫展（5月10日-5月20日）

- 東京中華学校 大講堂（千代田区五番町十四番地）  
郭東榮、陳景容、劉國松ら総勢 72 名の作品を展示  
（台北 5 月 3 日－5 月 14 日 國父紀念館 3F 逸仙藝廊）
- 1997 年 小室哲哉、globe、安室奈美恵、TRF の 3 組が台湾でコンサート  
「TK pan-pacific Tour'97」（5 月 27 日、28 日）  
サッカースタジアム「中山足球场」（観客動員数 4 万人以上）
- 1997 年 先住民族音楽彩祭 97（5 月 30 日）  
江東区文化センター 午後 7 時開演  
台湾からの参加は、イブン（パイワン族）、キヌプル（ルカイ族）  
日本留学中のルギィ（アミ族）  
主催：先住民族音楽彩祭実行委員会
- 1997 年 アジアフォーカス・福岡映画祭 97（9 月 12 日－21 日）  
[ 台湾映画特集 ]  
「海辺の女たち」（監督：李嘉、李行）1963 年  
「原郷人」（監督：李行）1980 年  
「老年萬歳」（監督：張佩成）1984 年  
「ある女の一生」（監督：張毅）1985 年  
「超級大国民」（監督：萬仁）1995 年  
「赤い柿」（監督：王童）1996 年  
「チュンと家族」（監督：張作驥）1996 年  
<http://www.focus-on-asia.com>
- 1997 年 人間国宝・市村羽左衛門 71 年ぶり台湾で歌舞伎公演  
（9 月 12 日－14 日・國家戲劇院、9 月 16 日、17 日・高雄市立文化中心  
至徳堂） 主催：自由時報 製作：松竹  
片岡我当、市村萬次郎ら一行 56 人 （一等席：約 45,000 円）  
「歌舞伎の見方」を説明後、「仮名手本忠臣蔵」七段目と舞踊「藤娘」
- 1997 年 第 10 回東京国際映画祭（11 月 1 日－11 月 10 日）  
[ インターナショナル・コンペティション ]  
「青春のつぶやき」（1996 年）  
英題：Murmur of youth 監督：林正盛（リン・チェンシェン）  
「藍月」（1997 年）  
英題：Blue moon 監督：柯一正（クー・イーチェン）
- [ ヤングシネマ・コンペティション ]  
「ラブゴーゴー」（1997 年）  
英題：Love Go Go 監督：陳玉勳（チェン・ユーシェン）
- [ シネマプリズム ]

- 「河」(1996年)  
 英題：The river 監督：蔡明亮（ツァイ・ミンリャン）
- 1997年 台湾映画祭（1997年12月26日－1998年2月15日）  
 三百人劇場（東京都文京区）  
 51作品（参考上映1本を含む）を2本立日替り上映  
 主催：台湾映画祭実行委員会、台北駐日経済文化代表処、台北市政府、  
 産経新聞社、アテネ・フランセ文化センター、（財）現代演劇協会
- 1998年 公共テレビ（公視）設立
- 1998年 『侯孝賢レトロスペクティブ』  
 監督：侯孝賢（ホウ・シャオシェン）  
 ユーロスペース（1998年2月下旬）  
 「ステキな彼女」（1980年）、「風が踊る」（1981年）、  
 「風櫃の少年」（1983年）、「冬冬の夏休み」（1984年）、  
 「ナイルの娘」（1987年）のニュープリントによる連続上映  
 （レン・コーポレーション＋ニューウェイブ）  
 DVD → [http://www.kinokuniya.co.jp/02f/d12/2\\_12000n\\_6.htm#houbox](http://www.kinokuniya.co.jp/02f/d12/2_12000n_6.htm#houbox)
- 1998年 エバー航空と全日空の子会社エアーニッポン（ANK）の共同運航による  
 関西国際空港－台北間路線復活（24年ぶり）
- 1998年 「台湾・沖縄文化交流琉球舞踊公演」台湾公演（3月28日、29日）  
 南部連合文化協会琉舞団 「中日編織展示会」（台中）の関連事業で  
 琉舞の師匠ら一行32人が参加 1997年の宜蘭県公演に続き二度目
- 1998年 台湾の織物 第41回企画展（6月24日－8月5日）  
 天理大学附属天理参考館（奈良県天理市布留1番地）
- 1998年 アジアフォーカス・福岡映画祭98（9月11日－20日）  
 「国道封閉」（監督：何平）1997年  
<http://www.focus-on-asia.com>
- 1998年 パフィー（PUFFY）初東南アジアツアー・台湾公演（9月19日、20日）  
 台北国際會議中心（観客動員数6,200人）  
 チケット：1,600元（約6,400円）から800元（約3,200円）
- 1998年 疫病や害虫の侵入を防ぎ、農作物生産の安全を確保するため、  
 台湾への渡航者の果物携帯入国を禁止（10月1日）
- 1998年 第11回東京国際映画祭（10月31日－11月8日）  
 [ コンペティション ]  
 「超級公民」（1998年） 監督：萬仁（ワン・レン）
- [ 1968－1997年の劇場公開作品および山形国際ドキュメンタリー  
 映画祭出品作品については、後記の補足資料2をご参照ください ]

- 1998年 台北新舞台京劇団東京公演（11月2日、3日、4日）  
「三国志」「水滸伝」等 東京国際フォーラム ホールC
- 1998年 映画「愛を乞うひと」（監督：平山秀幸）が劇場公開（9月26日）  
出演：原田美枝子、中井貴一（台湾人の父親役） ※日本映画
- 1998年 産経新聞以外の日本のマスコミが台北に支局を開設
- 1999年 台湾先住民の工芸（1月5日-3月14日）  
東京国立博物館東洋館第3室  
今回の特別陳列では、先住民族の作り出した装飾や日用品などの  
工芸品を展示  
特に、1874（明治7）年の台湾事件（牡丹社事件）時や、明治期に  
台湾総督府が収集した物など、年代の古い非常に貴重な工芸品です  
（平常は倉庫に保管）
- 1999年 LUNA SEA 初の海外公演（1月9日 台北国際會議中心）  
1998年、金城武主演・フジテレビドラマ「神様、もう少しだけ」が  
台湾で放送 主題歌「I for you」がヒット  
2000年11月、サッカースタジアム「中山足球场」  
チケット：1,000元、1,600元、2,400元
- 1999年 台湾映画祭アンコール99（1月30日-2月12日）  
BOX 東中野  
映画祭取得作品13作品をアンコール、東京最終上映  
さらに山形国際ドキュメンタリー映画祭97参加作品から  
2作品を加えて全15プログラムを一挙上映
- 1999年 神戸台湾映画祭99（2月6日-18日）  
神戸アートビレッジセンター  
「侠女・上集」「侠女・下集」「光陰的故事」を含む10作品を上映
- 1999年 第1回 福岡アジア美術トリエンナーレ 1999 「FT1 1999」  
（3月6日-6月6日）  
<http://c10o8rm6.securesites.net/FT/1999>  
福岡アジア美術館 3年ごとに開催されるアジア美術の祭典  
テーマ：コミュニケーション 希望への回路  
台湾からは、  
チェン・シュンチュ（陳順築）／Chen Shunchu  
リン・ミンホン、マイケル・リン（林明弘）／Michael Lin  
ワン・ジュンジェ（王俊傑）／Wang Junjeh  
ウ・ティエンチャン（吳天章）／Wu Tienchang
- 1999年 台湾映画祭 in 京都（3月13日-19日）

京都みなみ会館

全8作品入替上映+「フラワーズ・オブ・シャンハイ」ロードショー

「あひるを飼う家」「悲情城市」「多桑」「熱帯魚」

「龍門客棧」「忠烈図」「光陰的故事」「炎の大捜査線2」

1999年 「迷いの園（迷園）」（著者：李昂）の日本語翻訳本が出版される

（新しい台湾の文学／現代台湾文学系列 全6巻）

1999年 「東アジア／絵画の近代」展－油画の誕生とその展開

静岡県立美術館（4月10日－5月23日）

台湾を含む東アジアの各地域の油絵を中心に、アヘン戦争

以降から1930－50年代までの作品約150点が出展されます

静岡県立美術館企画による、兵庫、徳島、宇都宮、福岡への巡回展示あり

1999年 日本台湾学会第1回学術大会（6月19日）

東大本郷山上会館 以降、毎年開催

<http://www.soc.nii.ac.jp/jats>

1999年 吉本新喜劇・台湾公演「台湾に妹を探しにやってきた」

（6月27日 台北・新舞台）

公演は日本語で計4回、台湾のタレント、田麗が説明役で出演

（中国語字幕付き）

1998年3月から「吉本新喜劇」が放映（台湾の有線テレビ「国興衛視」

毎週2日・ゴールデンアワー）

1999年 「三三会」が発足（7月21日）

日本の台湾進出企業と台湾現地企業のトップによる民間経済交流組織

1999年 SHAZNA 台湾公演（8月）

台北市立體育場（観客動員数3万人）

台湾の音楽専門チャンネル「MTV」が主催

1999年 アジアフォーカス・福岡映画祭99（9月10日－19日）

「悪女列傳」（監督：温耀庭、林靖傑、詹穎郁）1998年

[協賛企画] 第10回福岡アジア文化賞受賞記念

『侯孝賢レトロスペクティブ 1980－87』

「ステキな彼女」「風が踊る」「坊やの人形」「風櫃の少年」「ナイルの娘」

<http://www.focus-on-asia.com>

1999年 フェスティバル・コンダ・ロータ99（9月14日、15日）

自然対話・自己回帰－阿美族的複音音楽

台湾先住民最長老・郭英男初来日－絶対是值得珍－

Bunkamura シアター・コクーン

郭英男&馬蘭吟唱隊、紀暁君、ゲスト：近藤等則

- 1999年 「台北ウォーカー」(台湾国際角川書店) 発刊(9月)  
1997年11月には、台湾東販から「HERE!」が創刊される
- 1999年 台湾大地震(九二一震災)
- 1999年 山形国際ドキュメンタリー映画祭 99  
山形市中央公民館など  
10月22日(金)ー24日(日) 日台ノドキュメンタリー討議  
『事例討議: 全景(台湾) & CINEMA 塾(日本)、映画運動の試み』  
「美麗少年ノ陳俊志」「労使間の滑稽な競争ノ羅興階」  
「I Love(080)ノ楊力州」「紅葉野球チームノ蕭菊貞」  
「ハイウェイで泳ぐノ吳耀東」「狩に出る2人ノ陳碩儀」  
<http://www.city.yamagata.yamagata.jp/yidff/home.html>
- 1999年 第12回東京国際映画祭(10月30日ー11月7日)  
[ コンペティション ]  
「ダークネス&ライトノ黑暗之光」(1999年)  
英題: Darkness and Light 監督: 張作驥(チャン・ツォーチ)  
[ シネマ・プリズム ]  
「フラット・タイヤノ破輪胎」(1999年)  
英題: Flat Tyre 監督: 黄明川(ホァン・ミンチュエン)  
[ 宋存壽(ソン・ツンショウ) 監督特集 ]  
「窓の外」(1972年)、「母親三十歳」(1973年)、「古鏡幽魂」(1974年)
- 1999年 パ・リーグのオリックス・ブレーブスが台湾大地震被災者支援  
(11月19日から3日間 台北など3カ所で3試合)  
オリックスは、被災者支援のためのチャリティー試合をおこなうため、  
イチロー以下主力選手を率いて、11月18日台湾を訪問 同日、オリックスから義援金五百万円が趙麗雲・行政院体育委員会主任委員に手渡された  
<http://www.roc-taiwan.or.jp/news/week/1935/112.html>



- 2000年 第10期総統に陳水扁、副総統に呂秀蓮就任
- 2000年 映画「グリーン・デスティニー」(監督: アン・リーノ李安)が大ヒット  
(2001年3月、第73回アカデミー外国語映画賞など4部門受賞)
- 2000年 黄俊雄の息子、黄文沢・強華兄弟によるニュータイプの布袋戯  
「霹靂」が若者の間で大流行、春節(旧正月)期間に公開された  
映画『聖石伝説』も記録的な大ヒットとなった
- 2000年 「DREAMS COME TRUE WONDERLAND 2000 in TAIPEI」初の台湾公演  
(1月8日 台湾 Taipei City Stadium)  
<http://www.dotgarden.com/live>

- 2000年 日本アジア航空のイメージキャラクターとして志村けんと金城武が共演（4月ー） [http://www.japanasia.co.jp/camp/frame\\_top.html](http://www.japanasia.co.jp/camp/frame_top.html)
- 2000年 楊徳昌監督の作品「a One & a Two／ヤンヤン 夏の思い出」が第53回カンヌ映画祭で監督賞を受賞（5月）
- 2000年 渡辺満里奈「満里奈の旅ぶくれ たわわ台湾」出版（新潮社、7月）
- 2000年 エバー航空、台北ー東京（羽田空港）定期便運航開始（9月7日）
- 2000年 アジアフォーカス・福岡映画祭2000（9月8日ー17日）  
「天馬茶房」（監督：林正盛）1998年  
「沙河悲歌」（監督：張志勇）2000年  
[ 特別企画：アジアフォーカス傑作選1991ー1999 ]  
台湾の作品は、「バナナ・パラダイス」（監督：王童）1989年  
<http://www.focus-on-asia.com>
- 2000年 小野リサ 初の台湾公演（9月 台北・台中・高雄）  
アルバム「プリティ・ワールド」は台湾でゴールドディスクを獲得  
2005年11月、台湾公演 <http://www.msap.net/LISA>
- 2000年 第13回東京国際映画祭（10月28日ー11月5日）  
[ 特別招待作品 ]  
「グリーン・デスティニー」（2000年） 監督：李安（アン・リー）  
[ シネマプリズム ]  
「ヤンヤン 夏の思い出」（2000年） 監督：楊徳昌（エドワード・ヤン）  
<http://www.tiff-jp.net>
- 2000年 米ヤフー（YAHOO）は、台湾の最大手ポータルサイトの奇摩站（KIMO）を買収することを発表（11月9日）
- 2000年 小林よしのり「新ゴーマニズム宣言 special 台湾論」出版  
（小学館、11月）
- 2000年 エスニックコンサート2000 台湾大地震一年 原住民族支援公演  
（11月19日） 赤羽会館講堂 午後2時開演  
台湾からの参加は、陳建年、am 合唱団、王宏恩  
主催：エスニックコンサート実行委員会
- 2000年 台湾高速鉄道計画に、日本の新幹線システムが採用される事業主体である台湾高速鉄路公司（台湾高鉄）と三井物産、三菱重工業、川崎重工業など日本企業連合七社が設立した台湾新幹線株式会社が東京都内で正式調印をおこなった 台北ー高雄間／334km（12月12日）
- 2001年 小三通開始（金門ーアモイ、馬祖ー福州）
- 2001年 ノービザ適用地域を20カ国に拡大  
（うち日本を含む19カ国はノービザ期間が2週間に）

- 2001年 「反町隆史 LIVE TOUR 2001 SOUL in 台北」台湾公演（2月24日）  
 サッカースタジアム「中山足球场」にて 午後7時—  
 2月21日に入籍した女優・松嶋菜々子と訪台  
<http://www.ken-on.co.jp/sorimachi>
- 2001年 「サミンガ（紀暁君）」東京ライブ公演（6月28日）  
 Tribute to the Love Generation  
 静岡・焼津ライブ公演（6月29日）  
 焼津市文化センター 小ホール
- 2001年 台湾の伝統人形芝居・布袋戲（ポーテーヒー）  
西螺新興閣掌中戲劇団（団長：鐘任壁） 来日公演（8月7日）  
 ひまわりホール（名古屋・丸の内） 一行12人  
 「西遊記」などを上演 開演午後3時と午後6時半  
 連絡先：ミネルバ名古屋 TEL：052-731-4112
- 2001年 亜細亜散歩（8月10日—10月21日）  
 水戸芸術館現代美術ギャラリーと資生堂ギャラリーが、それぞれ異なった  
 テーマの展覧会を同時開催
- 2001年 GLAY EXPO 2001（8月11日）  
 福岡県北九州市マリナクロス新門司特設ステージ、東南アジアのアーティストも招いての8万人動員のオールナイトコンサート  
 SPECIAL GUEST：Nicholas Tse from HONG KONG,  
 MAYDAY from TAIWAN（五月天／メイデイ）,  
 JAURIM from KOREA, DOME from THAILAND,  
 The d.e.p from The International  
 Vocal：ビビアン・スー（Vivian Hsu）
- 2001年 アジアフォーカス・福岡映画祭2001（9月14日—24日）  
 [中国語圏映画特集]  
 台湾の作品は、「夜に逃れて」（監督：徐立功、尹祺）2000年  
 「運転手の恋」（監督：張華坤、陳以文）2000年  
 「檳榔（びんろう）売りの娘」（監督：林正盛）2001年  
<http://www.focus-on-asia.com>
- 2001年 山形国際ドキュメンタリー映画祭2001（10月3日—9日）  
 台湾からは、「祖母のかんざし」、流離島影シリーズ「サイレント・デルタ」  
 「集集大怪獣」などを上映  
<http://www.city.yamagata.yamagata.jp/yidff/home.html>
- 2001年 大木昭夫 写真展 [真空の島・台湾 TAIWAN 1971年～1978年]  
 福岡アジア美術館 企画ギャラリーB（10月4日—16日）

<http://faam.city.fukuoka.jp>

- 2001年 「21世紀をアジアの世紀に！」(10月17日、18日)  
アジア大都市ネットワーク21 第1回本会議  
会場：東京都庁5F大会議場  
デリー、クアラルンプール、ソウル、東京、バンコク、北京、ハノイ、  
ジャカルタ、マニラ、シンガポール、台北、ヤンゴンが参加  
「アジアの夢と躍動展」 10月16日-18日 都庁都民広場  
電話：03-5388-2231 事務局
- 2001年 第14回東京国際映画祭(10月27日-11月4日)  
[ シネマプリズム ]  
「城市飛行」 監督：黄銘正 (ホアン・ミンチェン)  
「トゥー・ヤング」 監督：黄銘正 (ホアン・ミンチェン)  
「ふたりの時、ふたりの時間」 監督：蔡明亮 (ツァイ・ミンリャン)  
<http://www.tiff-jp.net>
- 2001年 第34回ワールドカップ野球大会が、11月6日から18日の日程で、  
初めて台湾で開催された  
<http://www.roc-taiwan.or.jp/news/week/2026/111.html>  
<http://www.roc-taiwan.or.jp/news/week/2027/114.html>
- 2001年 アジア・ミーツ・アジア2001(11月21日-25日)  
台湾からは王墨林演出『黒洞』が海外招聘公演として上演された  
会場：プロト・シアター (高田馬場)
- 2002年 台湾WTO加入
- 2002年 映画「聖石傳説」Japan プレミア開催(2月26日)  
黄強華 (監督・脚本)、黄文擇 (製作・全ての声の出演)、映画音楽の  
作詞作曲を担当した伍佰 (ウーバイ) が来日  
<http://www.bandaivisual.co.jp/seiseki>
- 2002年 第2回 福岡アジア美術トリエンナーレ 2002 「FT2 2002」  
(3月21日-6月23日)  
<http://c10o8rm6.securesites.net/FT/2002>  
福岡アジア美術館 3年ごとに開催されるアジア美術の祭典  
テーマ：語る手 結ぶ手 Imagined Workshop  
台湾からは、  
リ・ミンズ (李明則) / Lee Mingtse  
ポン・ホンヂィ (彭弘智) / Peng Hungchih
- 2002年 中華航空、エバー航空、東京線羽田着発を成田へ変更(4月18日)
- 2002年 アジア舞台芸術祭2002 東京(8月18日-23日)

東京国際フォーラムにおける企画 18日-21日  
アジアの主要都市—北京、デリー、ハノイ、クアラルンプール、  
マニラ、ソウル、台北、東京—の舞台芸術団体と関係者が一堂に会し、  
作品のプレゼンテーションや人と情報の交流を通じてアジアの舞台芸術  
を世界に発信する、フェスティバルに見本市の要素を併設させた事業  
<http://www.tpam.co.jp>

- 2002年 アジア・ミーツ・アジア 2002  
コラボレーション プロジェクト Vol.2 (8月19日、20日、21日)  
テーマ 「Code Switching」  
台湾からは、Pisui Ciyo さんが参加  
台湾先住民の舞踊集団「原舞者」所属／国立芸術学院劇場芸術研究所  
修士課卒 ダンサー  
会場：東京国際フォーラム、プロト・シアター（高田馬場）
- 2002年 「Ken Hirai LIVE TOUR 2002 “Ken’s Bar” in Taipei」(9月6日、7日)  
午後6時— 3,800元、2,800元、2,200元  
歌手・平井堅 童謡「大きな古時計」を台湾で初披露
- 2002年 アジアフォーカス・福岡映画祭 2002 (9月13日-23日)  
「きらめきの季節／美麗時光」(監督：張作驥) 2001年  
<http://www.focus-on-asia.com>
- 2002年 ワンダーアイズ写真展 —世界の子どもたちのまなざし—  
「島からの風 from 台湾～緑島とランユウ島」展 開催(10月10日-21日)  
JG11 クラブ 25 (千代田区一番町 25JG11 ビル) TEL:03-3263-7111  
主催：中華民國台湾台東県政府文化局、  
布農文教基會(財)、巴魯巴藝術工作坊  
[http://www.wondereyes.org/history/taiwan/j\\_hist\\_taiwan.html](http://www.wondereyes.org/history/taiwan/j_hist_taiwan.html)  
<http://www.wondereyes.org>
- 2002年 第5回アジア MANGA サミット日本大会 in YOKOHAMA (10月12日-14日)  
会場：パシフィコ横浜、横浜そごう、他  
＜アジア MANGA サミット組織委員会＞  
韓国、中国、香港、台湾台北、インドネシア、マレーシア、シンガポール、  
タイ、日本 (アメリカ、フランス)  
<http://www.asianmangasummit.com>
- 2002年 第15回東京国際映画祭 (10月26日-11月4日)  
「藍色大門」 監督：易智言 (イー・ツーイエン)  
[ アジアの風 ]  
「シーディンの夏」 監督：鄭有傑 (チェン・ヨウチェー)

- 「引き金」 監督・脚本：楊順清（アレックス・ヤン）  
<http://www.tiff-jp.net>
- 2002年 一青窈（ひとと・よう） 1st. シングル「もらい泣き」発売（10月30日）  
（父：台湾人 母：日本人） <http://www.hitotoyo.ne.jp>
- 2002年 台湾で国選択無形民俗文化財の人形浄瑠璃「今田人形」披露  
長野県飯田市立竜峡中学校生徒7人台湾で11月8日－11日開催の  
「新港国際青少年カーニバル」に参加
- 2003年 台湾映画大特集（3月2日－4月11日）  
キネカ大森 <http://www.cinemabox.com/schedule/omori/>  
第1部 ミレニアム・マンボ公開記念 侯孝賢とスター俳優  
「ステキな彼女」「風が踊る」「ナイルの娘」「多桑／父さん」  
第2部 俳優・李康生と都市・台北  
「愛情萬歳」「河」「Hole」「ふたつの時、ふたりの時間」  
「台北ソリチュード」
- 2003年 作家・陳舜臣氏が台北市郊外の淡水に戸籍を回復（3月下旬）  
第7回江戸川乱歩賞（1961年）『枯草の根』、第60回直木賞（1968年  
下半期）『青玉獅子香炉』など受賞
- 2003年 王力宏（ワン・リーホン） 日本での1st. シングル「たった一人の君へ  
Last Night」発売（4月16日）  
HYDE、Gackt と共演した映画「MOON CHILD」公開（4月19日）  
出演映画：「SPY\_N」（2000年、監督：スタンリー・トン）  
「拳神/KENSHIN」（2001年、監督：アンドリュー・ラウ、コリー・ユン）  
「MOON CHILD」（2003年、監督：瀬々敬久）  
「真昼ノ星空」（2004年、監督：中川陽介）  
<http://www.sonymusic.co.jp/Music/International/Special/WangLeehom>
- 2003年 31カ国に対し、ノービザ期間を14日から30日へ延長（5月）
- 2003年 アジアフォーカス・福岡映画祭 2003（9月12日－23日）  
「小雨の歌」（監督：連錦華）2002年  
「人間喜劇」（監督：鴻鴻）2001年  
<http://www.focus-on-asia.com>
- 2003年 男子ゴルフ・第31回 ANA オープン 台湾出身の葉偉志が優勝（9月21日）  
過去には、1975年 謝永郁、2001年 林根基が優勝  
<http://www.aspwb.com/anaopen/rekidai>
- 2003年 山形国際ドキュメンタリー映画祭 2003（10月10日－16日）  
台湾からは、「生命」「雑菜記」「指月記」「霧鹿村のリズム」  
<http://www.city.yamagata.yamagata.jp/yidff/home.html>

- 2003年 人気ヒップホップユニット「KICK THE CAN CREW (キック・ザ・カン・クルー)」初の台湾公演 (10月25日 台北国際會議中心)  
SARS (新型肺炎) の影響で低迷している観光の復興のため  
台湾観光協会認定の親善大使として (観客動員数約3,000人)
- 2003年 K. ODA ASIA TOUR 2003 『Kira Kira』 (10月23日)  
(Taipei International Convention Center)  
2005年 小田和正 2度目の台湾公演 (11月6日 台北国際會議中心)  
(観客動員数2,000人)
- 2003年 アサヒビールチャレンジ アジア野球選手権2003(10月31日-11月7日)  
札幌ドーム 参加国・地域：準決勝リーグ…フィリピン、インドネシア、  
中国、パキスタン 決勝リーグ…チャイニーズタイペイ、韓国、日本、  
準決勝リーグ1位チーム  
主催：BFA (アジア野球連盟)、  
第22回アジア野球選手権札幌大会組織委員会
- 2003年 第16回東京国際映画祭 (11月1日-9日)  
[ アジアの風 ]  
「さらば、龍門客棧」 監督：蔡明亮 (ツァイ・ミンリャン)  
「不見」 監督：李康生 (リー・カンション)  
「7-ELEVENの恋」 監督：鄧勇星 (トン・ユンシン)  
特集「魅せられて」前夜 ジュディ・オングの台湾映画時代 (3本)  
合計6本を上映 <http://www.tiff-jp.net>
- 2003年 世界一超高層ビル「台北101」ショッピングセンターがオープン (11月)  
台北101 (正式名称：台北金融大樓) 正式オープンは2004年12月31日  
<http://www.tfc101.com.tw>
- 2003年 躍動台湾・東京日台友好歴史写真展 (12月12日-18日)  
渋谷マークシティ特設会場 (WEST MALL 4F)
- 2003年 台湾映画祭2003 (12月23日、24日、27日、28日)  
六本木オリベホール  
「夢幻部落」(2002年) 監督：鄭文堂 (チェン・ウェンタン)  
「猫をお願い」(2002年) 監督：吳米森 (ウー・ミーセン)  
「愛情靈藥 B. T. S」(2001年)  
監督：蘇照彬 (スー・チャオピン) / 李豊博 (リー・フォンボー)  
「お月様が見えない」(2001年) 監督：蔡明亮 (ツァイ・ミンリャン)  
「台北ソリチュード」(1997年) 監督：林正盛 (リン・チェンシェン)  
「夜に逃れて」(1999年)  
監督：徐立功 (シュー・リーゴン) / 尹祺 (イン・チー)

- 「生命 (いのち)」(2003 年) 監督: 呉乙峰(ウー・イーフォン)  
7 作品上映 主催: 台湾・行政院新聞局、台北駐日経済文化代表処  
[http://www.roc-taiwan.or.jp/film\\_festival](http://www.roc-taiwan.or.jp/film_festival)
- 2003 年 F4 主演テレビ番組「流星花園」が日本でも放送 <http://f4.tv>  
2003 年から 2005 年、日本で放送されている台湾関連のドラマとして、  
「ラベンダー」「流星雨」「流星花園Ⅱ」「山田太郎ものがたり」  
「部屋においでよ」「戦神～MARS～」「エーゲ海の恋」「星が輝く夜に」  
「雪天使」「天龍八部」「1メートルの光」  
「Love Storm 狂愛龍捲風」「EXPRESS BOY 悪男宅急電」「あすなろ白書」  
「絶対絶命 お嬢様」「天国のウエディングドレス」など  
2006 年(予定)、「求婚事務所」「原味の夏天」「君を守りたい 天使我愛你」  
「ふたりのお嬢様」など
- 2003 年 12 月 - 2004 年 1 月 第 1 回 日台文化交流青少年スカラシップ作品募集  
(対象者は中学、高校、大学生、受賞者は台湾研修旅行に招待)
- 2004 年 陳水扁総統、呂秀蓮副総統連任 (第 1 1 期)
- 2004 年 林志玲 ビジット・ジャパン・キャンペーン台湾親善大使に
- 2004 年 舞踊団「雲門舞集」(クラウド・ゲイト/主宰・林懷民) 来日公演  
(2 月 25 日 - 29 日 東京都新宿文化センター)
- 2004 年 安室奈美恵 台湾で初単独ツアー (5 月 1 日、2 日)  
台北縣新莊體育館
- 2004 年 中央研究院に台湾史研究所が正式に開設 (7 月 13 日)
- 2004 年 7 月 27 日 第 1 回「台湾子供親善大使」任命式が台北駐日経済文化  
代表処で行われた (日本の中華ファミリーレストラン「バーミヤン」を  
通じて、4 月下旬から 6 月末まで、小学校四年～六年生を対象に食に関  
する川柳を全国から募集した 主催: 台湾観光協会 共催: 台北駐日経済  
文化代表処 一行は 7 月 28 日～7 月 31 日の 4 日間、台湾を訪問)
- 2004 年 世界最大の学生 NPO・アイセック (AIESEC) の 2004 年アジア太平洋総会  
が台湾で開催 (8 月 8 日)
- 2004 年 日本台湾合作人形劇「動物整形外科医院」が公演される  
いいだ人形劇フェスタにて シナリオ・演出: 黄春明  
人形製作・演技指導: 人形劇団「ひとみ座」座員  
台湾・宜蘭県「黄大魚児童劇団」が演じた  
8 月 6 日午後 7 時 -、8 月 7 日正午 -、長野県飯田市鼎中平・鼎公民館  
連絡先: 実行委事務局 TEL: 0265-23-3552
- 2004 年 台湾の伝統人形芝居・布袋戲 (ポーテーヒー)  
亦宛然掌中劇団 来日公演

- 8月9日 ガスホール（名古屋・今池） 一行14人  
 午後3時－恋物語「素敵な出会い」  
 午後6時－「白蛇伝」 大人3,000円、子供2,000円  
 連絡先：ミネルバ名古屋 TEL：052-731-4112
- 2004年 台湾は五輪参加史上初、二個の金メダルを獲得  
 （8月13日－29日 アテネ）
- 金メダル  
 テコンドー女子49キロ級 陳詩欣選手  
 テコンドー男子58キロ級 朱木炎選手
- 銀メダル  
 テコンドー男子68キロ級 黄志雄選手  
 アーチェリー男子団体
- 銅メダル  
 アーチェリー女子団体
- 2004年 台湾からの修学旅行生の入国ビザの取得緩和（9月1日）
- 2004年 JR東京駅構内、丸の内北口ドーム前広場で台湾観光をPRする  
大型イベント「台湾劇場」が催された（9月3日、4日）
- 2004年 第49回アジア太平洋映画祭（9月21日－25日）  
 「黒狗（ブラックドッグ）親分が来た」（監督：尹祺）2004年  
 「台北21」（監督：楊順清）2003年  
 「FOMULA17」（監督：陳映蓉）2004年
- 2004年 DA PUMP 台湾公演（9月27日、28日）  
 ツアーのファイナル公演として台北縣新莊體育館で初の海外単独公演
- 2004年 日台合作アニメ「アークエとガッチンポー」放送開始  
 （テレビ東京系、10月－）  
 2005年1月－土曜早朝から金曜午後6時へと放送時間を変更  
 13話以降番組名を「アークエとガッチンポー てんこもり」と改題し延長  
 作画を台湾、脚本・演出・アフレコ等音響制作は日本  
 アークエ（阿貴）は2000年からウェブ上で公開されているキャラクター  
 一日のアクセス数は三百万件以上、2002年フジテレビが深夜に放送  
<http://www.aniplex.co.jp/unco>
- 2004年 第17回東京国際映画祭（10月23日－31日）  
 [ コンペティション ]  
 「時の流れの中で The Passage（経過）」  
 監督：鄭文堂（チェン・ウェンタン）  
 [ アジアの風 ]

- 「夢遊ハワイ Holiday Dreaming (夢遊夏威夷)」  
 監督：徐輔軍 (シュー・フーチュン)
- 「狂放 Uninhibited (狂放)」  
 監督：陳正道 (レスト・チェン)  
<http://www.tiff-jp.net>
- 2004年 台湾一周豪華観光列車「宝島之星」が初運行 (10月30日)
- 2004年 1992年の断交以来、台湾と韓国の定期航空便が正式に再開 (10月)
- 2004年 シンポジウムと台湾映画上映会 (11月1日)  
 早稲田大学大隈講堂地下ホール (東京都新宿区西早稲田)  
 第一部 シンポジウム 午前10時から12時30分 [無料]  
 「台湾映画と日本」  
 第二部 台湾映画上映 午後2時から [無料]  
 台湾映画『夢遊ハワイ (夢遊夏威夷)』(徐輔軍監督/2004年)  
 徐輔軍監督、鄭文堂監督挨拶  
 徐輔軍監督を囲んで (Q & Aセッション)  
 主催：早稲田大学台湾研究所  
 後援：財団法人交流協会、台湾資料センター  
 連絡先：03-3444-8724 台湾資料センター
- 2004年 人形劇の国際シンポジウム「東アジア伝統人形劇の継承と発展」  
(11月13日)  
 山口大学 大学会館 (山口市吉田) 二年に一度開催・第二回  
 台湾からは布袋戲、台北市西田社布袋戲基金会の3人が参加  
 連絡先 研究科 TEL：083-933-5597
- 2004年 第2回 日台文化交流青少年スカラシップ作品募集 (11月30日まで)  
<http://www.business-i.jp/scholarship>
- 2004年 立法委員選挙実施 (12月11日)
- 2004年 

在台日本人数16,166人 (10月1日)
-----------------------
- |                               |
|-------------------------------|
| (最も多いのは台北市8,933人、次が高雄市1,271人) |
|-------------------------------|
- 2004年 

1年間に台湾を訪れる観光客295万余人
---------------------
- |                 |
|-----------------|
| (うち日本人観光客89万余人) |
|-----------------|
- |                         |
|-------------------------|
| 1年間に台湾から海外への出国人数は778万余人 |
|-------------------------|
- 2004年 

平均賃金 (月)：製造業40,611円
---------------------

  
 (2003年 日本の平均賃金：製造業372,172円)
- 2005年 第1回日台親善囲碁大会が開催 (1月25日)  
 日本アジア航空の創立30周年を記念し、台湾から囲碁愛好者が  
 日本を訪問 (日本から台湾への訪問は、第32回日台親善囲碁大会)

- そのほかにも、第 20 回中国語スピーチコンテストなど、毎年、日本と台湾の青少年のための各種交流活動も行っている  
<http://www.japanasia.co.jp>
- 2005年 台北駐日経済文化代表処代表夫人・盧千恵さんが玉山社（台湾）から『給孩子們の台湾歴史童話』を出版（2月1日）
- 2005年 映画「着信アリ2」（監督：塚本連平）劇場公開（2月5日）  
 出演：ミムラ、吉沢悠、瀬戸朝香、ピーター・ホー（何潤東）  
 配給：東宝 ※日本映画
- 2005年 続・台湾宣言！（2月12日－3月11日）  
 キネカ大森 <http://www.cinemabox.com/schedule/omori/>  
 「藍色夏恋」「ダブル・ビジョン」「運転手の恋」  
 「ミレニアム・マンボ」「珈琲時光 小津安二郎生誕 100 年記念」
- 2005年 ゴスペラーズ 台湾ライブ（1月21日）  
 OPEN 19:00 / START 19:30 紅樓劇場（台北市成都路 10 號）  
<http://redplayhouse.com.tw>
- 2005年 第 55 回 ベルリン映画祭で蔡明亮監督が銀熊賞（芸術貢献賞）を受賞（2月）
- 2005年 「流星花園 F4 WORLD 展」（3月11日－28日）  
 渋谷パルコミュージアム  
<http://www.parco-art.com/web/museum/f4/>  
 パルコ ホワイトディ キャンペーンサイト  
<http://www.parco.co.jp/parco/05whiteday/>  
 以降、大阪、広島、名古屋にて開催
- 2005年 愛知万博開催期間の6カ月間（3月25日－9月25日）、台湾の観光客に対しビザを免除  
 （2005年9月、日本の国会でノービザ措置の恒久化が正式に採択）
- 2005年 「秘すれば花：東アジアの現代美術」（3月29日－6月19日）  
 森美術館 六本木ヒルズ森タワー53階  
<http://www.mori.art.museum>
- 2005年 F4が遂に日本上陸、日本デビューアルバム「流星雨」が発売（4月27日）  
<http://www.roc-taiwan.or.jp/news/week/05/050427e.htm>
- 2005年 4月29日、30日 東京国際フォーラムで行われる LA FOLLE JOURNEE au JAPON ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン「熱狂の日」音楽祭 2005 に、台湾から Evergreen Symphony Orchestra（長栄交響楽団） が参加
- 2005年 王貞治監督を無任所大使に任命（2001年にも任命）

<http://www.roc-taiwan.or.jp/news/week/05/050506b.htm>

- 2005年 台湾広告展 2005 (5月10日-6月4日)  
主催：(財)吉田秀雄記念事業財団  
協力：中華民国国際行銷傳播經理人協会  
台湾の「中国時報」社が主催する「第27回時報広告金像賞」受賞作品、  
および「自由時報」社の「4A自由創意賞」の受賞作品を紹介  
会場：アド・ミュージアム東京 <http://www.admt.jp>
- 2005年 許世楷・駐日代表は5月30日、那覇市の沖縄県庁舎でおこなわれた  
「台湾友好歴史写真展」のオープニングセレモニーに出席、台日の交流  
促進と相互理解の強化をアピールした  
同展是那覇市のほか、名護、沖縄、糸満および浦添各市の市庁舎内で、  
7月29日まで2カ月にわたり開催された
- 2005年 国土交通省が推進する「ビジット・ジャパン・キャンペーン」の台湾親善  
大使に、台湾のトップモデルで女優の林志玲さんが昨年度に続いて任命さ  
れ、6月3日、北側一雄・国土交通大臣から任命状が手渡された
- 2005年 台日米3カ国の芸術家による作品を展示した文化交流展が、台北駐日経済  
文化代表処1階のビザセクションロビーおよびインフォメーションセ  
ンターで、6月3日-9日まで開催された
- 2005年 愛知万博で台湾を代表する5つの芸術団体による公演  
「TAIWAN'S IMPACT 2005」が開催  
「蘭陽舞踏団」、「優劇団」、「舞鈴劇場」、「雲門舞集」、「朱宗慶打擊楽団」  
<http://www.roc-taiwan.or.jp/news/week/05/050620a.htm>
- 2005年 LOVE PSYCHEDELICO (ラブサイケデリコ) 台湾公演 (6月22日)  
台北国際會議中心
- 2005年 台湾先住民であるブヌン族の地域振興団体「布農 (ブヌン) 文教基金会」  
のメンバーが6月25日、東京の浅草公会堂でおこなわれた日本の和太鼓  
集団「鬼太鼓座」の『田耕追悼コンサート vol.4』に出演
- 2005年 7月1日、台湾で初めての先住民向け専門チャンネル「原住民電視台  
(先住民テレビ局)」が開局
- 2005年 姜建銘投手がプロ野球・巨人に入団  
<http://www.roc-taiwan.or.jp/news/week/05/050706c.htm>
- 2005年 7月7日-7月10日 「東京国際ブックフェア」と「国際文具・紙製品展」  
が、東京・有明の東京ビッグサイトで開催された。12回目となる今年の  
ブックフェアには、過去最多の25カ国、650社が出展し、台湾からは21  
社、約1500種類の書籍が展示、また文具展にはおよそ40社が出展
- 2005年 第2回「子供台湾親善大使」を任命、小学生の代表が親善交流に出発

- <http://www.roc-taiwan.or.jp/news/week/05/050726c.htm>
- 2005年 8月6日に兵庫県で開催された「第21回宝塚国際室内合唱コンクール」に参加し、男性と混声合唱の部でそれぞれ金賞を獲得、女性合唱の部でも銀賞を受賞した台湾の「福爾摩沙合唱団 (The Formosa Singers)」のメンバー37人が8月10日、台北駐日経済文化代表処を訪問し、そのすばらしい歌声を披露した
- 2005年 松田聖子、初の海外コンサート デビュー25周年記念ツアー最終公演 (8月20日) 25周年「夢幻精霊」巡迴演唱會 2005 in Taiwan  
台北縣新莊體育館 (観客動員数 6,000人)  
<http://max7.ezpeer.com/sw196/pp/event/seiko/050802.htm>
- 2005年 台湾がユニバーシアードで金6、銀2、銅4を獲得 (開催地:トルコ)  
<http://www.roc-taiwan.or.jp/news/week/05/050824c.htm>
- 2005年 台湾の芸能界長者番付で No.1 を誇る歌手の周杰倫 (ジェイ・チョウ)が来日し、8月30日、東京都内のホテルで行なわれた「頭文字 (イニシャル) D THE MOVIE」の記者会見に出席  
<http://www.roc-taiwan.or.jp/news/week/05/050831a.htm>
- 2005年 アジア海洋映画祭 イン 幕張 (9月2日-4日)  
<http://www.amffm.net/>  
会場: シネプレックス幕張 (千葉県千葉市美浜区中瀬)  
幕張メッセ国際会議場 (千葉県千葉市美浜区ひび野)  
主催: アジア海洋映画祭 イン 幕張実行委員会  
特別協賛: 日本財団  
台湾からの参加作品は、「あの夏の日の浪声」  
(英語タイトル: Voice of Waves / 原題: 那年夏天的浪聲)  
2002年 台湾 / 60分 / カラー オリジナル言語: 中国語 (日本語字幕)  
監督: 陳秀玉 (Ms Lisa CHEN)
- 2005年 第62回「ヴェネチア映画祭」で台湾勢が活躍  
台湾の李安 (アン・リー) 監督がグランプリにあたる金獅子賞を、  
林見坪監督が短編フィルム賞を受賞  
<http://www.roc-taiwan.or.jp/news/week/05/050913a.htm>
- 2005年 アジアフォーカス・福岡映画祭 2005 (9月16日-25日)  
台湾からは、「翻滾吧! 男孩」(邦題: ジャンプ! ボーイズ) が上映  
<http://www.roc-taiwan.or.jp/news/week/05/050802a.htm>  
<http://www.focus-on-asia.com>
- 2005年 第3回 福岡アジア美術トリエンナーレ 2005 「FT3 2005」  
(9月17日-11月27日)

<http://c10o8rm6.securesites.net/FT/2005>

福岡アジア美術館 3年ごとに開催されるアジア美術の祭典

テーマ：多重世界 Parallel Realities: Asian Art Now

台湾からは、

ウー・マーリー（呉瑪俐）／Wu Mali 1957年 台北生まれ

チェン・ジエレン（陳界仁）／Chen Chieh-jen 1960年 桃園生まれ

ゼン・ユーチン（曾御欽）／Tseng Yu-chin 1978年 台北生まれ

2005年 アジア平和音楽祭（9月18日、19日）

NATIVE SPIRITS <http://www.monsoonrecord.com/ns/>

台湾からの参加は、紀暁君（サミンガ）、陳建年（チェンネン）、  
am 楽団が来日

2005/9/18(日) 新宿 LOFT、2005/9/19(祝) 流山市文化会館にて開催

TEL & FAX : 050-1192-8304 NATIVE SPIRITS 実行委員事務局

2005年 w-inds. 2005 "Ageha" Concert Tour In Taipei (9月24日、25日)

台北縣新莊體育館

2005年 横浜トリエンナーレ 2005 (YOKOHAMA 2005) (9月28日-12月18日)

<http://www.yokohama2005.jp>

テーマ「アートサーカス(日常からの跳躍)」

王徳瑜 / ワン・テユ (台湾) / Wang Te-Yu

姚瑞中 / ヤオ・レイヅオン (台湾) / Yao Jui-Chung

2005年 「台北市立国楽団」 日本公演

【 尼崎公演 】 9月30日

会場 尼崎市総合文化センター アルカイクホール

主催 (財)石川県音楽文化振興事業団、寒雲プロジェクト

後援 台北駐日経済文化代表処、中華民国留日大阪中華総会 ほか

【 小松公演 】 10月2日

会場 こまつ芸術劇場「うらら」(TEL : 0761-20-5500)

主催 北陸中日新聞

後援 台北駐日経済文化代表処、中華民国留日東京華僑総会、石川県ほか

【 金沢公演 】 10月3日

会場 石川県立音楽堂コンサートホール

主催 北陸中日新聞

後援 台北駐日経済文化代表処、中華民国留日東京華僑総会、石川県ほか

【 富山公演 】 10月4日

会場 富山市大沢野文化会館 (TEL : 076-468-1191)

主催 富山市大沢野文化会館、(財)新湊市中央文化会館

後援 富山県公立文化施設協議委員会 ほか

【 新湊公演 】 10月5日

会場 新湊市中央文化会館 (TEL : 0766-82-8400)

主催 (財)新湊市中央文化会館

後援 富山県公立文化施設協議委員会 ほか

【 東京公演 】 10月7日

会場 新宿文化センター (TEL : 03-3350-1141)

主催 東京新聞、寒雲プロジェクト

後援 台北駐日経済文化代表処、台湾婦女会 ほか

2005年 人気ヒップホップグループ「SOUL'd OUT (ソールド・アウト)」

台湾の野外イベントに出演 (10月)

3万人の大観衆にライブを披露 サッカースタジアム「中山足球场」

での野外音楽イベント「MTV音楽格鬥演唱會」に日本代表として出演

2004年に続き2度目の台湾公演

2005年 台湾大震災ドキュメンタリー映画上映会 (10月6日)

台湾の映像制作集団「全景」のメンバーも来場、トーク企画あり

『梅の実の味わい』、『部落の声』

共同開催：台湾大震災記録映画の日本上映を支援する会

／早稲田大学台湾研究所

会場：早稲田大学小野梓記念館 西早稲田キャンパス27号館地下2階

2005年 山形国際ドキュメンタリー映画祭 2005 (10月7日-13日)

【 大歩向前走 (前を向いて大きく歩こう) — 台湾「全景」の試み 】

と題して、台湾大震災復興に関する6作品が上映されます

『生命 (いのち)』、『天下第一の家』、『部落の声』、

『梅の実の味わい』、『三叉坑』、『中寮での出会い』

【 アジア千波万波 】における上映作品のなかで、台湾からの参加は

下記の3作品 <http://www.roc-taiwan.or.jp/news/week/05/050905d.htm>

『南方澳海洋紀事』 (原題：南方澳海洋紀事)

<http://cc.shu.edu.tw/~hlee9/NanFangAo.htm>

台湾/2004/台湾語、中国語、英語、タガログ語/カラー/35mm/98分

監督：李香秀 (リー・シアンシヨウ)

『移りゆくステージ』 (原題：四輪頂的戲台仔)

台湾/2004/台湾語/カラー/ビデオ/42分

監督：林啓壽 (リン・チーシヨウ)

『25歳、小学2年生』 (原題：25歳、國小二年級)

台湾/2003/中国語/カラー/ビデオ/60分

監督：李家驊（リー・ジアホア）

山形国際ドキュメンタリー映画祭

<http://www.city.yamagata.yamagata.jp/yidff/>

2005年 「抽象と金属」国際展覧会（10月10日－15日）

「新樹画廊」東京都豊島区目白3-13-3 03-3950-0775 ※入場無料

廖瓊瑜、白瓊如、游琇霏、劉冠伶、劉佩君、

楊承峰、柳政良、陳志揚、8人の作品展

2005年 台湾映画「南方紀事之浮世光影」が東京で特別上映（10月14日）

<http://www.roc-taiwan.or.jp/news/week/05/051019e.htm>

2005年 第18回東京国際映画祭（10月22日－30日）

Bunkamura（渋谷区）、六本木ヒルズ（港区）がメイン会場

“台湾：電影ルネッサンス”と題し、台湾の今と未来に注目した

台湾映画の特集が組まれ、劇映画、ドキュメンタリー、アニメなど

合わせて11作品が一挙にスクリーンに登場

上映作品は、蔡明亮監督『浮気雲』（天邊一朵雲）

林正盛監督『月光の下、我思う』（月光下我記得）

王明台監督『恋人』（戀人）

鄭文堂監督『深海』（深海）

侯季然監督『台湾黒電影』（台灣黒電影）

李啓源監督『チョコレート・ラップ』（巧克力重撃）

曾文珍監督『飛び魚を待ちながら』（等待飛魚）

李芸嬋監督『靴に恋する人魚』（人魚朵朵）

ミッキー・チェン監督『非婚という名の家』（無偶之家、往事之城）

王童監督『ファイヤーボール』（紅孩児、決戦火焰山）

顔蘭権・荘益増両監督『無米樂』（無米樂）

[http://www.roc-taiwan.or.jp/news/week/taiwan\\_cinema.htm](http://www.roc-taiwan.or.jp/news/week/taiwan_cinema.htm)

<http://www.tiff-jp.net>

巨匠・侯孝賢監督が第2回「黒澤明賞」を受賞

<http://www.roc-taiwan.or.jp/news/week/05/051031b.htm>

2005年 俳優 マイク・ハー（賀軍翔） 初来日（10月23日）

最新主演ドラマ「Express Boy 悪男宅急電」のPRのため

<http://www.imx.ne.jp/info/2005/1012.html>

2005年 シンポジウムと台湾映画上映会（11月2日）

早稲田大学国際会議場第2会議室（3階） 東京都新宿区西早稲田

第一部 シンポジウム 午前10時から12時30分 [無料]

「国際的グローバル化状況における中国語圏映画の可能性」

- 第二部 台湾映画上映 午後2時から4時30分 [無料]  
 侯季然監督 『台湾黒電影』  
 ミッキー・チェン監督 『非婚という名の家』  
 主催：早稲田大学台湾研究所  
 後援：財団法人交流協会、台湾資料センター  
 連絡先：03-3444-8724 台湾資料センター
- 2005年 陶芸家・張義明展（11月3日-14日）  
 遊工房アートスペース 東京都杉並区善福寺3-2-10  
 TEL：03-5930-5009  
<http://www.roc-taiwan.or.jp/news/week/05/051102b.htm>  
<http://www.youkobo.co.jp>
- 2005年 映像産業振興策の一環として行政院新聞局が主催する「2005台湾国際映像博覧会」が開催（11月4日-17日） <http://tifte.gio.gov.tw>  
<http://www.roc-taiwan.or.jp/news/week/05/051028b.htm>
- 2005年 「第3回チアリーディング世界大会」男女混成で台湾が優勝  
 11月5日と6日、東京の国立代々木競技場で開催  
<http://www.roc-taiwan.or.jp/news/week/05/051107b.htm>
- 2005年 謝長廷・行政院長は11月6日、台北—高雄間を90分で結ぶ台湾高速鉄道（台湾版新幹線）に試乗し、時速300キロのスピードを体験した  
 2006年10月に開通予定の台湾高速鉄道は、日本の新幹線技術を採用  
 車両は、新幹線「のぞみ」をベースに台湾向けに改良した「700T型」  
 12両一編成で、台南駅をはさんだ58キロの試験走行区間のうち25キロを、営業運転最高速の時速300キロで走行した  
<http://www.roc-taiwan.or.jp/news/week/05/051107a.htm>
- 2005年 アジアシリーズ2005（11月10日-13日）  
<http://asia.npb.or.jp/>  
 日本、韓国、中華台北、中国のアジア4大野球リーグのチャンピオン  
 が参加する、初めてのアジアナンバーワン決定戦  
 「野球の国際化」の本格的な第一歩となる大会で、最高峰の公式戦と  
 位置付けられる  
 会場：東京ドーム <http://www.tokyo-dome.co.jp/dome/>  
 主催：日本野球機構（NPB） 後援：読売新聞社  
 協力：中国棒球協会（CBA）、中華職業棒球連盟（CPBL）、  
 韓国野球委員会（KBO） ※アルファベット順表記
- 2005年 第6回東京フィルメックス（11月19日-27日）  
 特別招待作品 「スリー・タイムズ」（仮題） 原題：最好的時光

監督：侯孝賢（ホウ・シャオシェン）

2005年／139分 配給：プレノン・アッシュ

<http://www.filmex.net>

- 2005年 日本人旅客の台湾への渡航者数が11月21日、長年の目標だった年間100万人を初めて突破し、行政院では同日、記念式典が行われた  
100万人目の旅客となった山脇善幸さんには、謝長廷院長から、100万円相当のギフトカードと台湾各地の特産物100種類が贈られた  
<http://www.roc-taiwan.or.jp/news/week/05/051122a.htm>
- 2005年 海外から台湾への渡航者数が11月24日、過去最多の300万人を突破した  
記念の300万人目となったのは、米国籍で60歳になるJack Konrathさん
- 2005年 台湾初の国際総合体育館「台北小巨蛋（台北ドーム）」が12月1日、  
台北市の南京東路にオープンした  
同ドームは1万5000席を有するメイン館とアイスリンクを持つサブ館から成り、スポーツのほかコンサートや各種イベントにも利用できるほか、フードコートやレストラン、ショッピングモールなどを併設する大型複合レジャー施設である（利用者見込み 年間200万人）  
<http://www.roc-taiwan.or.jp/news/week/05/051202c.htm>
- 2005年 台北と高雄の直轄市を除く23の県市長選挙、県市議会議員選挙、  
郷鎮長（町村長に相当）の3つの同時選挙（三合一選挙）が行われた  
（12月3日）
- 2005年 生け花を通じた文化交流を推進する日本のNGO・いけばなインターナショナル東京支部による「いけばなインターナショナルフェア2005」が、  
12月5日、東京都内のホテルで行われた  
台湾のブースでは、盧千恵・駐日代表夫人をはじめ、駐日代表処のフォルモサ婦女会のメンバーが参加  
<http://www.roc-taiwan.or.jp/news/week/05/051205d.htm>
- 2005年 日本の囲碁界で活躍する台湾の青年棋士・張栩さんが、第30期名人戦で初の名人位防衛を果たし、12月9日、東京都内のホテルで就位式が開かれた <http://www.roc-taiwan.or.jp/news/week/05/051212a.htm>
- 2005年 台北、横浜両市による「芸術家交流プログラム」がスタート  
会場：横浜 BankART Studio NYK 2005年12月24日－2006年1月7日  
<http://www.roc-taiwan.or.jp/news/week/05/051222b.htm>
- 2005年12月－2006年1月 第3回 日台文化交流青少年スカラシップ作品募集  
<http://www.business-i.jp/scholarship>
- 2005年 映画「春の雪」の撮影カメラマンとして李屏賓（リー・ピンピン）が参加  
監督：行定勲 原作：三島由紀夫 劇場公開：10月29日－

出演：妻夫木聡、竹内結子 配給：東宝 ※日本映画

2005年 人口：2千277万0383人（12月末）  
面積：36,188.0354平方キロメートル

2006年 台湾の郭源治元投手と、日本女子野球選手の片岡安祐美さんが、民間の「台日野球親善大使」として1月10日、台湾を訪れた  
<http://www.roc-taiwan.or.jp/news/week/06/060113c.htm>

2006年 1月20日（金） FM COCOLO 開局10周年記念事業  
～日本・台湾観光交流キャンペーン～  
『メイデイ（五月天）「FINAL HOME」LIVE in OSAKA  
大阪ストリートバンド祭2006』  
梅田芸術劇場（大阪市北区茶屋町19-1）  
<http://www.umegei.com/m2006/meidei.html>  
S席5,000円 A席4,000円 B席3,000円  
※当日券は各席1,000円UP  
ロックレコード株式会社 電話：03-5496-0701  
<http://www.rockrecords.co.jp/asia/mayday>

2006年 日本人退職者に180日有効のマルチビザを発行（2月1日一）  
<http://www.roc-taiwan.or.jp/news/week/06/060120b.htm>

2006年 「舞鈴劇場」東京公演（2月5日）  
ヤクルトホール（東京都港区東新橋） 午後6時開演  
主催：日本中華聯合總會、留日台湾同郷会  
連絡先：03-3442-9966 日本中華聯合總會  
舞鈴劇場 Diabolo Dance Theatre <http://www.diabolo.com.tw>

2006年 2月5日（日）、2月6日（月）  
1st Concert in Japan 周杰倫<ジェイ・チョウ> 無與倫比日本演唱會  
会場：東京国際フォーラム ホールA  
2月5日 開場・開演 17:00・18:00  
<http://www.diskgarage.com/play/00052858.html>  
2月6日 開場・開演 18:00・19:00  
<http://www.diskgarage.com/play/00052876.html>  
席種：料金（税込） 全席指定：8,400円

2006年 「アサヒスーパードライブレゼンツ 2006 WORLD BASEBALL CLASSIC  
アジアラウンド」（3月3日-5日）  
3月20日にはアメリカ・サンディエゴでWORLD BASEBALL CLASSICの  
初代王者が決定 <http://www.wbcar.com>

台湾からは「チャイニーズタイペイ」が参加、試合日程は

3月3日(金) 東京ドーム

GAME1 11:30 チャイニーズタイペイ vs 韓国

3月4日(土) 東京ドーム

GAME4 18:00 チャイニーズタイペイ vs 日本

3月5日(日) 東京ドーム

GAME5 11:00 中国 vs チャイニーズタイペイ

主催: WORLD BASEBALL CLASSIC INC.、読売新聞社

特別協賛: アサヒビール(株)、アサヒ飲料(株)、コナミ(株)

.....  
アサヒスーパードライ チャレンジ(エキシビジョンゲーム)

2月28日(火) 東京ドーム

12:00 チャイニーズタイペイ vs 千葉ロッテ

2006年 『華流FESTA! 2006』 in 東京 & 大阪

<http://f4.tv/p/public/event>

【Zepp Tokyo】2006年3月18日(土)

昼公演 14:00 開演 夜公演 18:00 開演

【Zepp Osaka】2006年3月19日(日) 18:00 開演

料金: 4,000円(税込) 1F立見、2F座席指定

出演者: アラン・コー(Alan Kuo)、レイニー・ヤン(Rainie Yang)

メーガン・ライ(Megan Lai)、ハーレム・ユウ(Harlem Yu)

<http://ticket.rakuten.co.jp>

2006年 アジア大都市ネットワーク会議 台北市にて開催予定(4月13日、14日)

2006年 9月23日(土・祝)、24日(日)

クラウド・ゲイト舞踊団 雲門舞集 日本公演

芸術監督: 林懷民

「行草 三部作Ⅱ」 CURSIVE II Music by John Cage

新宿文化センター 午後2時から

招聘: 日本文化財団 電話: 03-3580-0031

2006年 台湾高速鉄道開通予定

2006年 「アジア太平洋映画祭」開催予定

2006年 台北市長・高雄市長選挙、台北市議員・高雄市議員選挙(12月)

2007年 立法委員選挙(12月)

2008年 総統・副総統選挙 第12期(3月)

2009年 高雄で「ワールドゲームズ」開催予定

2009年 台北と高雄の直轄市を除く23の県市長選挙、県市議会議員選挙、  
郷鎮長（町村長に相当）の3つの同時選挙（三合一選挙）

.....

## 【 ジャニーズ関連 】

- 1985年 「少年隊」 台湾公演（11月）  
台北市体育館 （1988年2月にも公演）  
<http://www.johnnys-entertainment.co.jp>
- 1992年 「忍者」 初の海外コンサート・台湾（5月23日、24日）  
台北市内で野外コンサート（マーディ・スクエア）
- 1999年 ジャニーズ Jr. の野球チーム「J2000」デビュー戦（12月18日）  
千葉マリスタジアムで台湾大地震チャリティー試合（軟式）  
2001月に台湾を訪れ、被災した子供たちに義援金を寄付  
（593万6,943円）
- 2000年 「1st ASIAN TOUR Kinki Kids MILLENNIUM CONCERT IN TAIWAN・HONGKONG」  
（2月22日、23日）  
台北南港101館にて 台湾2回公演、香港3回公演  
<http://www.johnnys-entertainment.co.jp>
- 2000年 ジャニーズ専門誌「Wink up」台湾で創刊（6月号）  
日本の大手出版社ワニブックス発行の台湾版としてオリジナル編集  
120元（約426円）目標発行数は月4-5万部
- 2000年 台湾の衛星ケーブルテレビ「台湾三立電視台」にジャニーズの番組  
7月3日から「Johnny's Power」（月一金曜 午後7時半）がスタート  
2001年契約満了に伴い、アジア全域にネットワークを持つ「TVBS」  
に移行
- 2000年 「TOKIO」 台湾公演（10月21日、22日 台北南港101館）  
午後7時30分ー チケット：1,000元
- 2001年 「V6」 台湾公演（2月9日ー11日 台北南港101館）  
午後7時ー（10日 午後3時、午後7時） チケット：1,000元
- 2001年 「Kinki Kids Returns! 2001 Concert Tour in 台北」（5月11日ー13日）  
台北スーパードーム 4回公演  
<http://www.johnnys-entertainment.co.jp>
- 2001年 「Coming Century」 初海外ツアー（11月2日ー4日）

外国人アーティスト興行史上初の3日間連続計5公演

(観客動員数 25,000 人)

- 2001年 フジテレビと台湾のTVBSが共同制作 音楽番組「ASIA SUPER LIVE」放送  
東山紀之、TOKIO、V6、MAX、ビビアン・スー、ジジ・リョンらが出演  
日本は3月27日 深夜1:00~2:00、TVBS系列で中国、台湾、シンガポール、オーストラリアなどで放送  
フジテレビでは「東京ラブストーリー」(1991年)を第1弾として、  
(原作:柴門ふみ 出演:鈴木保奈美、織田裕二、江口洋介)  
「101回目のプロポーズ」(1991年、出演:武田鉄矢、浅野温子)  
など、90年台前半からドラマを香港と台湾のテレビ局にセールス  
アジアにおける日本ブームのきっかけを作った
- 2002年 「TOKIO」 2回目の台湾公演(2月22日、23日、24日 台北南港101館)  
午後7時- チケット:1,200元  
3月1日に海外初のジャニーズ事務所公認「ジャニーズパワーファンクラブ(JPFC)」が台湾で発足 結成式は台北南港101館で行われた  
<http://www.aziotv.tv/jpfc>
- 2002年 「Tackey & Tsubasa in Taipei, 從台灣開始! From us With LOVE  
Supporter by MA CHERIE」 資生堂・マシェリ (5月17日-19日)  
滝沢秀明 & 今井翼 ジャニーズ Jr.  
台北南港101館(台北市南港區興南街71號, 中視、TVBS側)
- 2002年 「V6」 台湾公演(11月15日-17日 台北南港101館)  
チケット:1,200元
- 2003年 「NEWS」 台湾へ(10月10日)  
台湾史上最大の音楽イベント「相信台湾」コンサートに出演  
台北市・總統府前 (観客動員数10万人)  
コンサートは新型肺炎(SARS)キャンペーンのために開催  
<http://www.johnnys-entertainment.co.jp>

.....

## ★★ 補足資料1

[文化交流事業] (財) 交流協会

[http://www.koryu.or.jp/tokyo/ez3\\_contents.nsf/06](http://www.koryu.or.jp/tokyo/ez3_contents.nsf/06)

.....

★★ 補足資料2

台湾映画祭 資料集 ー台湾映画の昨日・今日・明日ー (1968ー1997年)

日本における台湾映画公開リスト

<http://nippon.zaidan.info/seikabutsu/1997/00612/contents/147.htm>

<http://nippon.zaidan.info/seikabutsu/1997/00612/contents/148.htm>

.....

★★ 補足資料3

日本で公開された台湾の監督による映画 (1998年ー2005年)

● 『台北ソリチュード』

原題：放浪 不受束縛的愛情 英題：Sweet Degeneration

監督：林正盛 (リン・チェンシン)

1997年／台湾映画／宣伝：Me & Her コーポレーション

ユーロスペース (1998年3月14日ー)

● 『河』 原題：河流 英題：The River

監督：蔡明亮 (ツァイ・ミンリャン)

1997年／台湾映画／配給：ユーロスペース

ユーロスペース (1998年8月8日ー)

1997年ベルリン国際映画祭銀熊賞受賞

● 『フラワーズ・オブ・シャンハイ』 原題：海上花 原題：Flowers of Shanghai

監督：侯孝賢 (ホウ・シャオシェン)

1998年／日本＋台湾映画／配給：松竹富士

東劇ほか全国松竹洋画系ロードショー (1998年10月17日ー)

DVD → <http://www.shochiku.co.jp/video/dvd/da0618.html>

● 『Hole』 原題：洞 英題：The Hole

監督：蔡明亮 (ツァイ・ミンリャン)

1998年／台湾・フランス合作映画／配給・提供：プレノンアッシュ、TBS

1999年9月4日より公開

第51回カンヌ国際映画祭公式部門国際批評家連盟賞受賞

● 『ラブゴーゴー』 原題：愛情来了 英題：LOVE GO GO

監督：陳玉勳（チェン・ユーシュン）

1997年／台湾映画

配給：アジア映画社、扇町ミュージアムスクエア、オフィスサンマルサン  
ユーロスペース（1998年12月上旬ー）

第34回台湾金馬奨助演男優賞

第10回東京国際映画祭ヤングシネマ正式出品作

● 『君がいた永遠』 原題：心動 英題：Tempting Heart

監督：張艾嘉（シルヴィア・チャン）

1999年／香港映画／配給：東宝東和、アスミック・エースエンタテインメント  
全国東宝東和系（1999年11月6日ー）

トロント国際映画祭正式出品作品

● 『台湾の暇人』 英題：Falling Up Walking Down

監督：アーサー・チュー

1997年／台湾映画／提供：HOPS-U Film

釜山国際映画祭コンペティション出品作品

ゆうばり国際ファンタスティック映画祭2000出展作品

● 『現実の続き夢の終わり』 想死趁現在 英題：a chance to die

監督：陳以文（チェン・イーウエン）

2000年／日本映画／製作：チーム・オクヤマ／配給：日活  
GWロードショー（2000年4月29日ー）

ゆうばり国際ファンタスティック映画祭2000出展作品

● 『最愛の夏』 原題：黑暗之光 英題：Darkness and Light

監督：張作驥（チャン・ツォーチ）

1999年／台湾映画／配給：ビターズ・エンド

銀座シネ・ラ・セット（2000年9月30日ー）他、全国順次公開

1999年 東京国際映画祭 東京グランプリ、

東京ゴールド賞、アジア映画賞 受賞

1999年 カンヌ国際映画祭 監督週間正式出品

2000年 シンガポール国際映画祭 グランプリ、  
最優秀アジア映画賞、国際批評家連盟賞 受賞

● 『ヤンヤン 夏の思い出』 英題：a one & a two...  
監督・脚本：楊徳昌（エドワード・ヤン）  
2000年／台湾＋日本合作映画  
提供：ポニーキャニオン、オメガ・プロジェクト、博報堂  
共同配給：オメガ・エンタテインメント、KUZUI エンタープライズ  
渋谷シネパレス（2000年12月16日ー）  
第53回カンヌ映画祭監督賞受賞作品  
第13回東京国際映画祭シネマプリズム公式参加作品  
2000年カルロビバリ国際映画祭  
2000年ニューヨーク国際映画祭  
2000年トロント国際映画祭正式出品作品

● 『ふたつの時、ふたりの時間』 原題：你那邊幾點 英題：What Time Is It There?  
監督・脚本：蔡明亮（ツァイ・ミンリャン）  
2001年／台湾＋フランス合作映画  
／配給：ユーロスペース、サンセントシネマワークス  
ユーロスペース（2002年2月23日ー）  
<http://www.eurospace.co.jp/detail.cgi?idreq=dtl1005713663>

● 『恋愛回遊魚』 原題：起毛球了 英題：Fluffy Rhapsody  
監督・脚本：呉米森（ウー・ミーセン）  
2000年／台湾映画／配給・宣伝：グアパ・グアポ  
ユーロスペースにてレイトショー（2002年2月ー）  
2001年シンガポール国際映画祭正式出品  
2000年台北金馬映画祭正式出品  
2000年釜山国際映画祭正式出品

● 『聖石傳説』 英題：LEGEND OF THE SACRED STONE  
製作：黄文擇 監督：黄強華  
2000年／台湾映画／配給：バンダイビジュアル  
東京 シネマスクエアとうきゅう（2002年3月16日ー）  
大阪・テアトル梅田公開 他、全国順次公開

● 『 きらめきの季節 』 原題：美麗時光 英題：THE BEST OF TIMES  
監督・脚本：張作驥（チャン・ツォーチ）  
2001年／台湾＋日本（NHK国際共同制作作品）  
シアター・イメージフォーラム（2002年12月14日ー）他、全国順次公開  
第39回金馬獎作品賞受賞  
2002年ヴェネツィア国際映画祭コンペティション部門正式出品作品  
第4回NHKアジア・フィルム・フェスティバル出品（2001年12月16日ー23日）  
<http://bitte942.rs.jp.net/kirameki>

● 『 ミレニアム・マンボ 』 原題：千禧曼波 英題：Millennium Mambo  
監督：侯孝賢（ホウ・シャオシェン）  
2001年／台湾＋フランス合作映画  
シブヤ・シネマ・ソサエティ（2003年4月12日ー）  
第2回東京フィルメックス TOKYO FILMeX 2001 特別招待作品  
2002年ゆうばり国際ファンタスティック映画祭出品  
2001年カンヌ国際映画祭 高等技術院賞受賞  
<http://bitte942.rs.jp.net/mambo>

● 『 ダブル・ビジョン 』 原題：雙瞳 英題：Double Vision  
製作・監督・脚本：陳國富（チェン・クォフー）  
2002年／香港＋台湾＋米国合作映画  
シネマスクエアとうきゅう（2003年5月24日ー）  
東京国際ファンタスティック映画祭 2002 正式出品作品

● 『 運転手の恋 』 英題：THE CABBIE  
監督：張華坤（チャン・ホアクン）、陳以文（チェン・イーウエン）  
2000年／台湾映画／配給：ニューウェイブ  
新宿ジョイシネマ3にてレイトロードショー（2003年6月下旬ー）  
第11回アジアフォーカス・福岡映画祭 2001 正式出品作品

● 『 藍色夏恋（あいいろなつこい） 』 原題：藍色大門 英題：BLUE GATE CROSSING  
監督：易智言（イー・ツーイエン）  
シャンテシネ（2003年7月26日ー）他、全国順次公開  
2002年／台湾＋フランス合作映画／ムービーアイ＋トライエム共同配給

● 『 シーディンの夏 』 原題：石碇的夏天 英題：summer, dream

監督・脚本：鄭有傑（チェン・ヨウチェー）  
2001年／台湾映画／配給：あかり屋＋スローラーナー  
東京国際映画祭 2002 アジアの風部門出品作品  
ユーロスペースにてレイトショー（2003年10月11日ー）  
<http://akari-ya.com>

● 『珈琲時光』 咖啡時光 英題：Coffee jikou  
監督：侯孝賢（ホウ・シャオシェン） 出演：一青窈、浅野忠信  
製作：松竹、朝日新聞社、住友商事、衛星劇場、IMAGICA  
2003年／日本映画／配給：松竹  
小津安二郎100年記念上映ワールドプレミア（2003年12月12日）  
テアトルタイムズスクエア（2004年9月11日ー）他、ロードショー  
<http://www.coffeejikou.com>  
DVD → <http://www.shochiku.co.jp/video/dvd/da0618.html>

● 『生命（いのち） 希望の贈り物』 原題：生命 英題：Gift of Life  
監督・製作：呉乙峰（ウー・イフォン）  
2003年／台湾映画／配給：シネマトリックス  
ポレポレ東中野（東京）（2005年1月29日ー）  
第七藝術劇場（大阪）にてロードショー（2005年2月26日ー）  
山形国際ドキュメンタリー映画祭 2003 優秀賞受賞  
2003年ナント三大陸映画祭 観客賞  
台湾映画祭 2003 上映作品  
<http://www.cinematrix.jp>

● 『アークエとガッチンポー』 英題：A-kuei & Gatchinpo  
監督：真喜屋力、張榮貴  
2005年／配給：アニプレックス  
テアトル池袋にてモーニングショー（2005年4月29日ー5月8日）  
アークエ（A-kuei／阿貴）とは、台湾のインターネットで大ブーム  
を起こし、米「TIME」誌で2003年度アジアのヒーローと  
して選ばれたキュートな小学生キャラクター。  
<http://www.aniplex.co.jp/unco>

● 『アバウト・ラブ』 關於愛 英題：about love  
台北／監督・脚本：易智言（イー・ツーイエン）

東京／監督：下山天

上海／監督：張一白（チャン・イーバイ）

2005年／配給：ムービーアイ・エンタテインメント

東京都写真美術館（2005年9月）他、全国ロードショー

<http://www.aboutlove-movie.com>

● 『僕の恋、彼の秘密』 原題：17歳の天空 英題：FORMULA 17

監督：陳映蓉

出演：楊祐寧／トニー・ヤン、周群達、金勤

2005年12月3日公開 新宿武蔵野館

<http://www.artport.co.jp>

<http://www.17-movie.com>

#### 【 2006年公開予定 】

★ 『靴に恋する人魚』 原題：人魚朵朵 英題：THE SHOE FAIRY

監督：李芸嬋（Robin Lee / Lee Yun-Chan）

出演：ビビアン・スー（徐若瑄）、Duncan（周群達）

Color / 35mm / 92min / 2005

<http://www.roc-taiwan.or.jp/news/week/05/051108a.htm>

★ 『不散』 Goodbye, Dragon Inn

監督：蔡明亮 Tasi Ming-liang

★ 『不見』 The Missing

監督：李康生 Lee Kang-Sheng

★ 『最好的時光』 Three Times

監督：侯孝賢 Hou Hsiao-hsien

★ 『深海』 BLUE CHA CHA

監督：鄭文堂 Cheng Wen-Tang

★ 『夢遊ハワイ』 Holiday Dreaming 原題：夢遊夏威夷

監督：徐輔軍 [http://www.goodfilm.com.tw/big/d\\_1.asp](http://www.goodfilm.com.tw/big/d_1.asp)

★『宅變』 THE HEIRLOOM 原題：宅變  
監督：陳正道 <http://www.heirloom-movie.com>

.....

**【 李安（アン・リー） 監督の作品 】**

[http://movie.cca.gov.tw/PEOPLE/people\\_inside.asp?rowid=70&id=1](http://movie.cca.gov.tw/PEOPLE/people_inside.asp?rowid=70&id=1)

「ブロークバック・マウンテン」（2005年／アメリカ映画）  
斷背山 英題：Brokeback Mountain

「ハルク」（2003年／アメリカ映画）  
緑巨人浩克 英題：Hulk

「グリーン・デスティニー」（2000年／アメリカ＋中国映画）  
臥虎藏龍 英題：Crouching Tiger, Hidden Dragon

「シビル・ガン／樂園をください」（1999年／アメリカ映画）  
與魔鬼共騎 英題：Ride with the Devils

「アイス・ストーム」（1997年／アメリカ映画）  
冰風暴 英題：The Ice Storm

「いつか晴れた日に」（1995年／イギリス＋アメリカ映画）  
理性與感性 英題：Sense and Sensibility

「恋人たちの食卓」（1994年／台湾映画）  
原題：飲食男女 英題：Eat Drink Man Woman

「ウェディング・バンケット」（1993年／台湾＋アメリカ映画）

原題：喜宴 英題：The Wedding Banquet

「推手 プッシング・ハンズ～わが心のニューヨーク～」

(1991年／台湾＋アメリカ映画)

原題：推手 英題：Pushing Hamds

.....

おもな参考資料：台湾総覧、自由新聞、台湾週報、

日本での台湾関係行事および新刊案内

作成：台湾資料センター TEL：03-3444-8724

<http://www.roc-taiwan.or.jp/data>

●● 不定期ではありますが、内容を更新しております。 ●●

.....

### 【台湾の映画関連のウェブサイト】

台湾電影網 TAIWAN CINEMA <http://movie.gio.gov.tw>

台湾電影資料庫 <http://cinema.nccu.edu.tw>

台湾電影筆記 <http://www4.cca.gov.tw/movie/index.asp>

國家電影資料館 <http://www.ctfa.org.tw>

台湾電影文化協會 <http://www.twfilm.org>

台北之家 《光點台北》 電影主題館 <http://www.spot.org.tw>

金馬獎 (2005 第四十二屆) <http://www.goldenhorse.org.tw>

台北電影節 (2005 第七屆) <http://www.tiff.org.tw>

女性影展 (2005 第十二屆) <http://www.wmw.com.tw>

台灣國際紀錄片雙年展 (2004 第四屆) <http://www.tidf.org.tw>

宜蘭國際綠色影展 (2005 第二屆) <http://www.gift.org.tw/ch>

台灣國際民族誌影展 (2005 第三屆) <http://www.tieff.sinica.edu.tw>

南方影展 (2005 第五屆) <http://cfma.tnua.edu.tw>

純 16 獨立影展 (2004 第四屆) <http://www.purely16.com.tw>

台灣國際動畫影展 (2005 第三屆) <http://tiaf.ctfa.org.tw/2005>

國際學生影展 ISFF <http://www.ntua.edu.tw/~glion>